

く他人棒を受け入れた先に待っているものはく

# 媚肉を

を

# 広げられ

# 躊躇

しながらも

# 喘ぐ

# 妻

# 夫の 目の前で 他の男に



本作品は、「僕に抱かれ喘ぐ妻は、他の男に抱かれた話を紡ぐ」の素材を再構成しており、原作と内容が異なります。





夫と結婚して  
一年あまりが経った

夫婦の営みに  
これまで不満を  
持ったことはない

…でも  
ここ最近

賢一さん…

どうか…したの？

え…いや

どうして？

私を  
見てくれない…

ふかがわ よしの  
深川 佳乃





はは…

いや…  
なんでもないよ

ちよつと仕事を  
頑張りすぎたかな？



そんな気がして  
ならなかった…

ん…その…

浮かない顔  
してたから…

きゅん



もしかして  
前の奥さんのことを  
考えてるんじゃないか…

？



そう…

それなら  
いいんだけど…



もう  
寝るね

…うん

そんなこと  
あるはずない





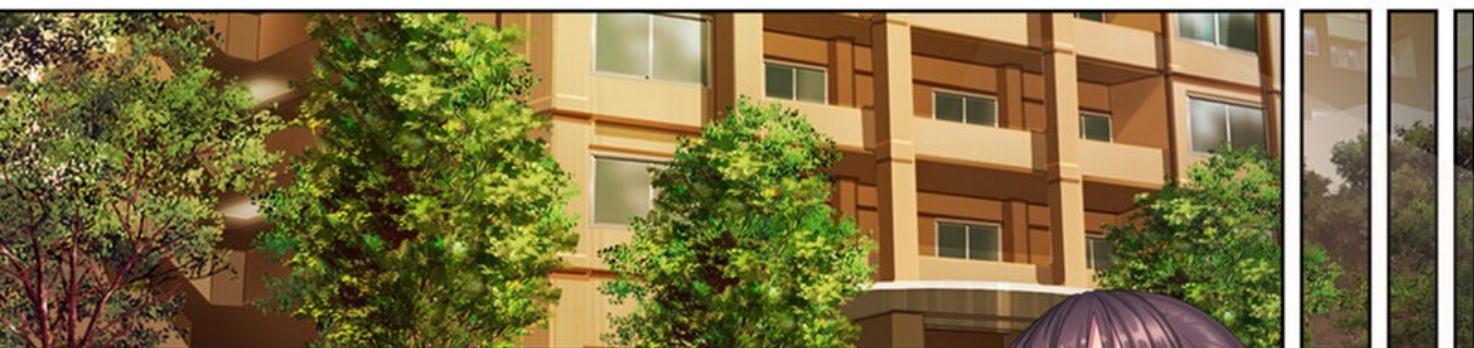
賢二さん…

私…信じて  
いますから…



おやすみなさい

だって離婚の原因は  
前の奥さんの  
不倫なんだから…



は

ねえってばっ

えっああ  
ごめん

どうかしたかい？



ねえ

賢一さん？

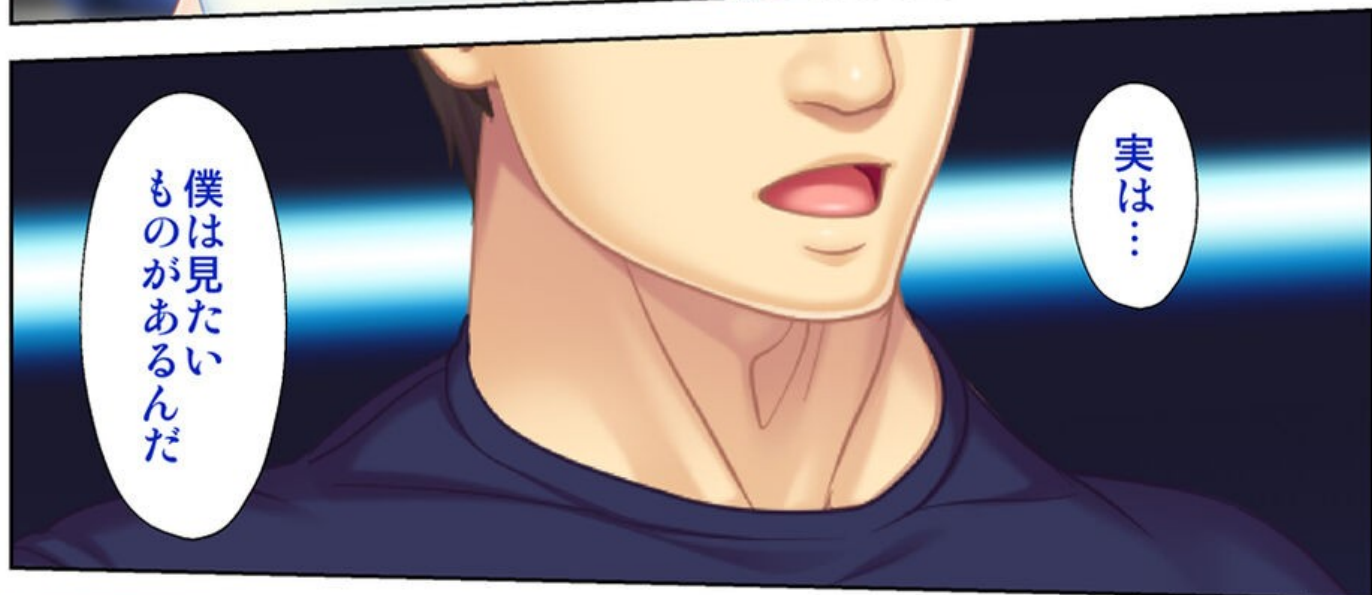




















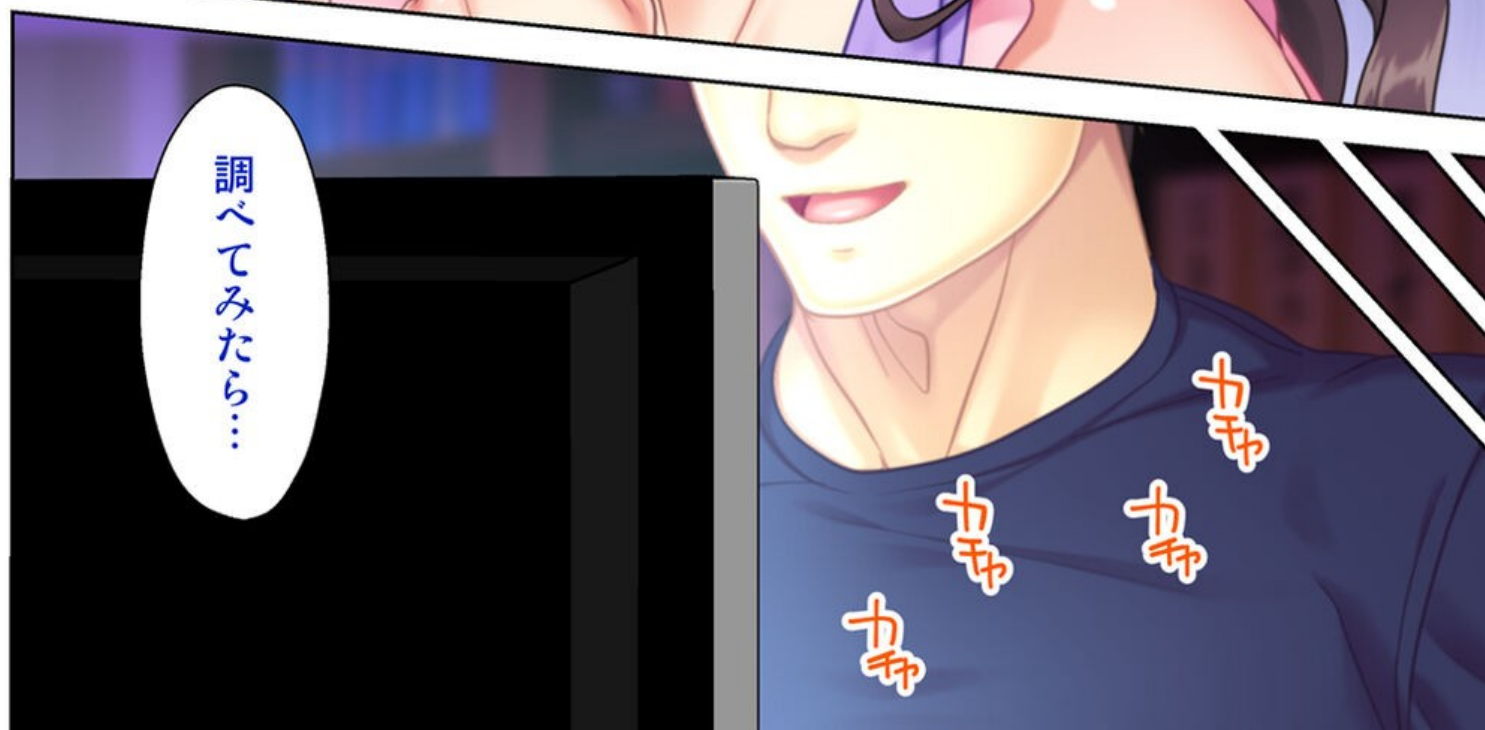
こんなことばかり  
思うようになったんだ…



そして僕は  
そんな佳乃を見て  
どれだけ興奮して  
しまっただろうか

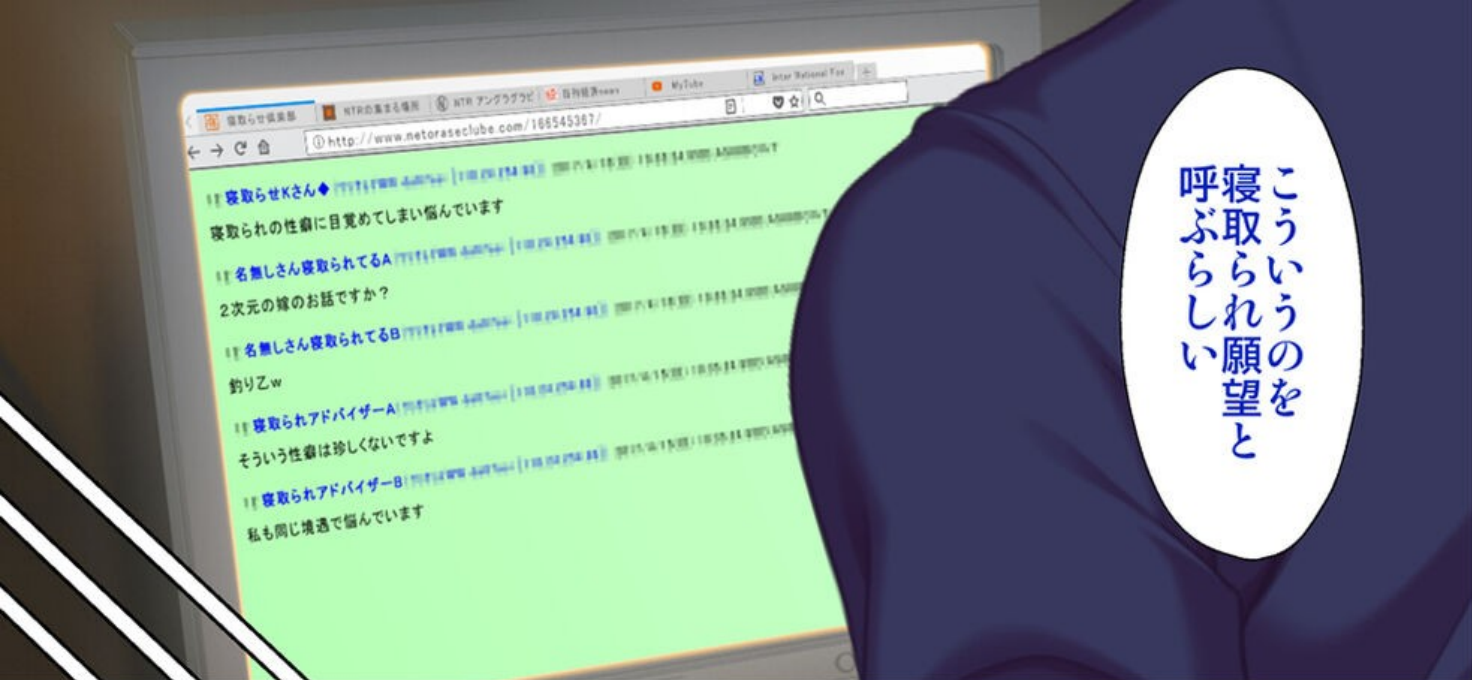


な…何を  
言っているの…



調べてみたら…









僕も自分に  
こんな願望があると  
気づいたのは

ごく最近なんだ

いや最近になって  
目覚めたというのかな



僕が前の妻と  
離婚した理由は  
知ってるよね？



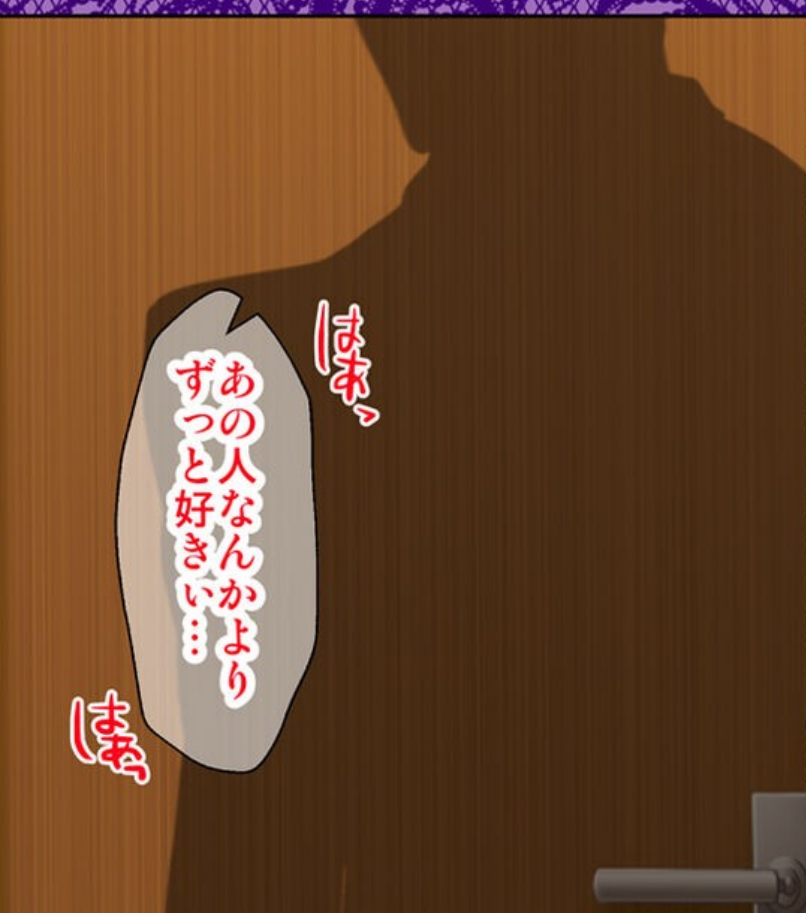
え……ええ



僕は見て  
しまったんだ

前の妻が他の男に  
抱かれていた  
その現場を……







カチャ

そんなに  
俺のチ○ポが  
いいの  
かよ……

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ええ……

はぁ



どういふ……こと  
だよ……

けん……いち……っ？

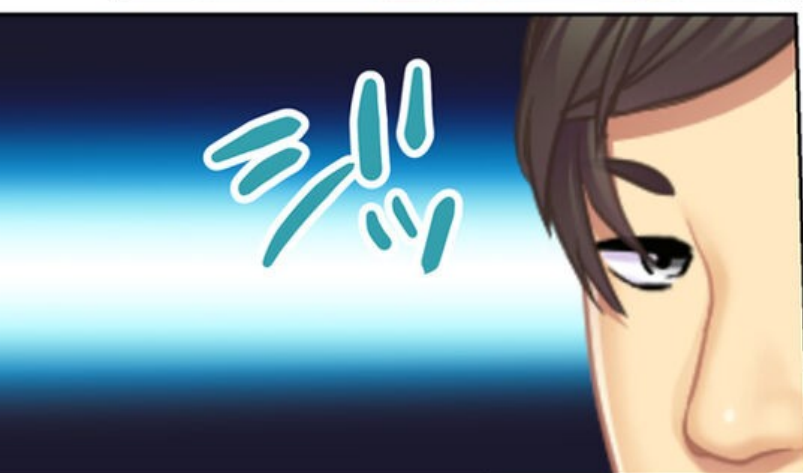
はぁ

はぁ

なんで……っ!?

はぁ

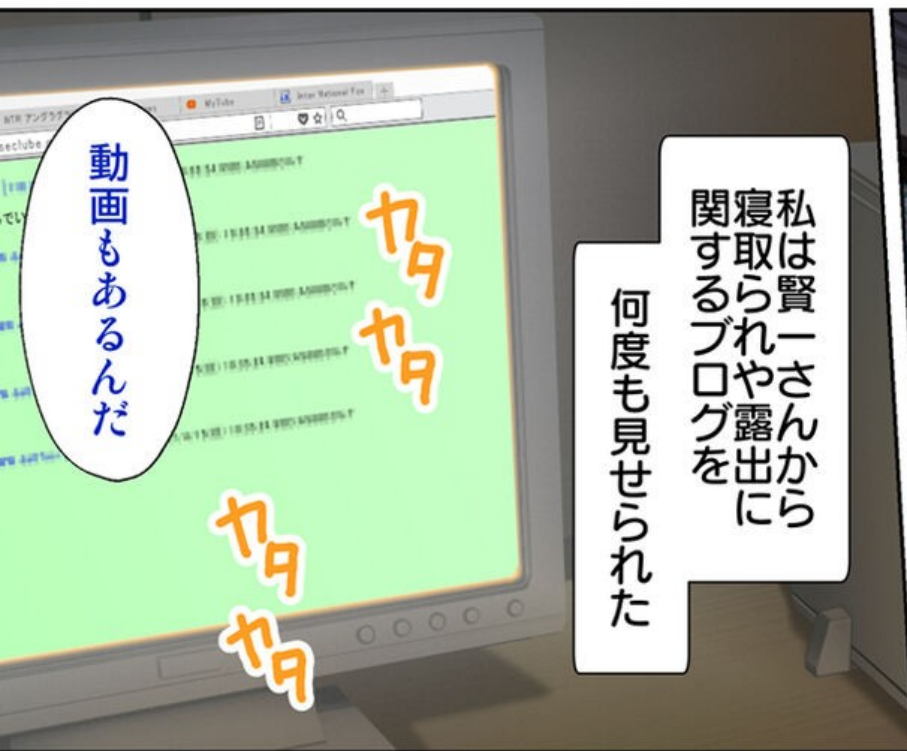










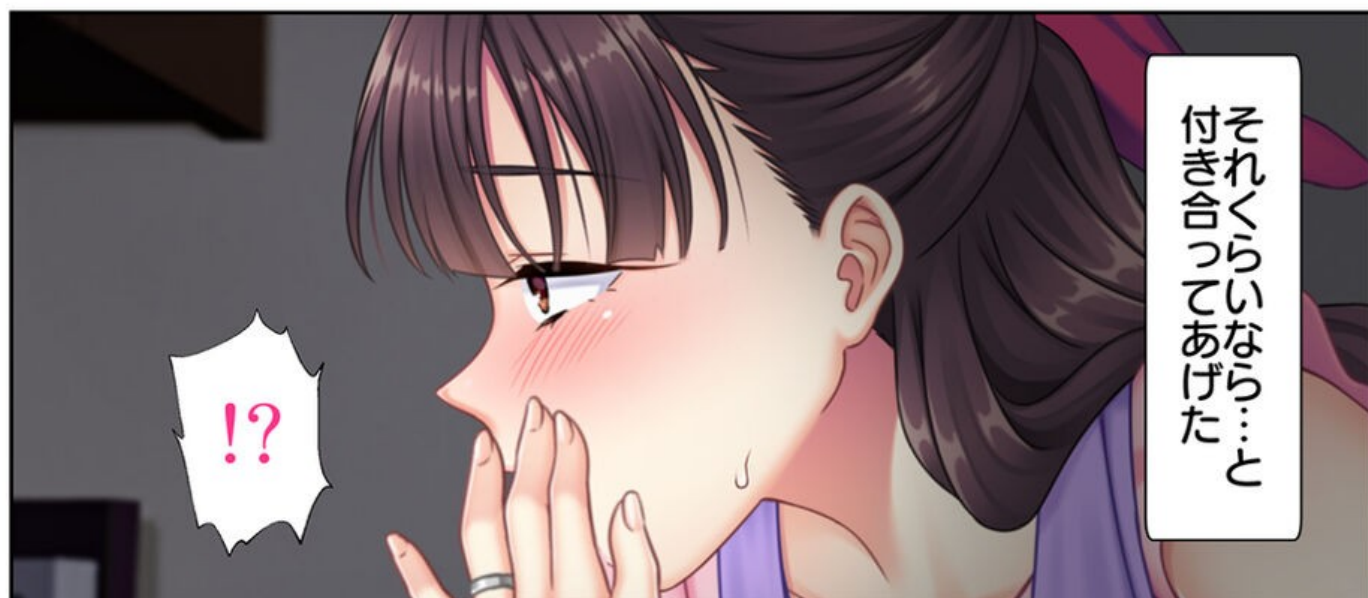


私は賢一さんから  
寝取られや露出に  
関するブログを

何度も見せられた



さすがに  
戸惑ったけど







緊張してるの？

はい…

夫以外の男に――



抱かれて  
よがり泣く女性の姿に

う…いいのおつ

旦那より…  
気持ちいいのおおつ



私は目を  
奪われてしまった





わ…私は別に…



興奮しないかい?

は



ひどく刺激的な言葉だけが  
耳に入ってくる



旦那より気持ちいい  
というー…

もい

じゅわ





僕たちも後で  
気持ちよく  
なろうか

佳乃…



トクッ

う…うん

ちゅ

トクッ

久しぶりに  
賢一さんと…



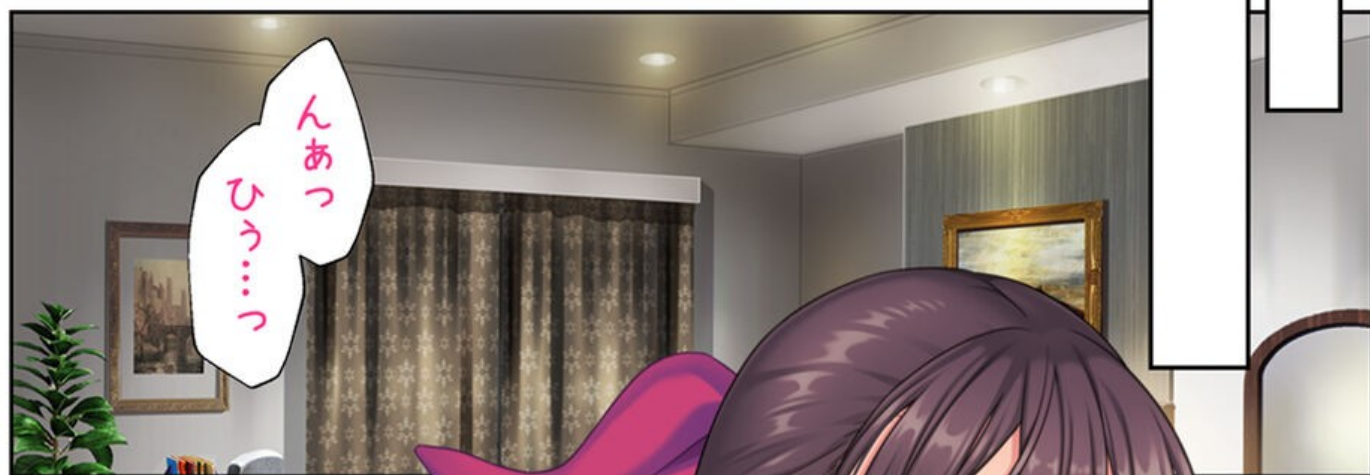
ザキッ

え…っ

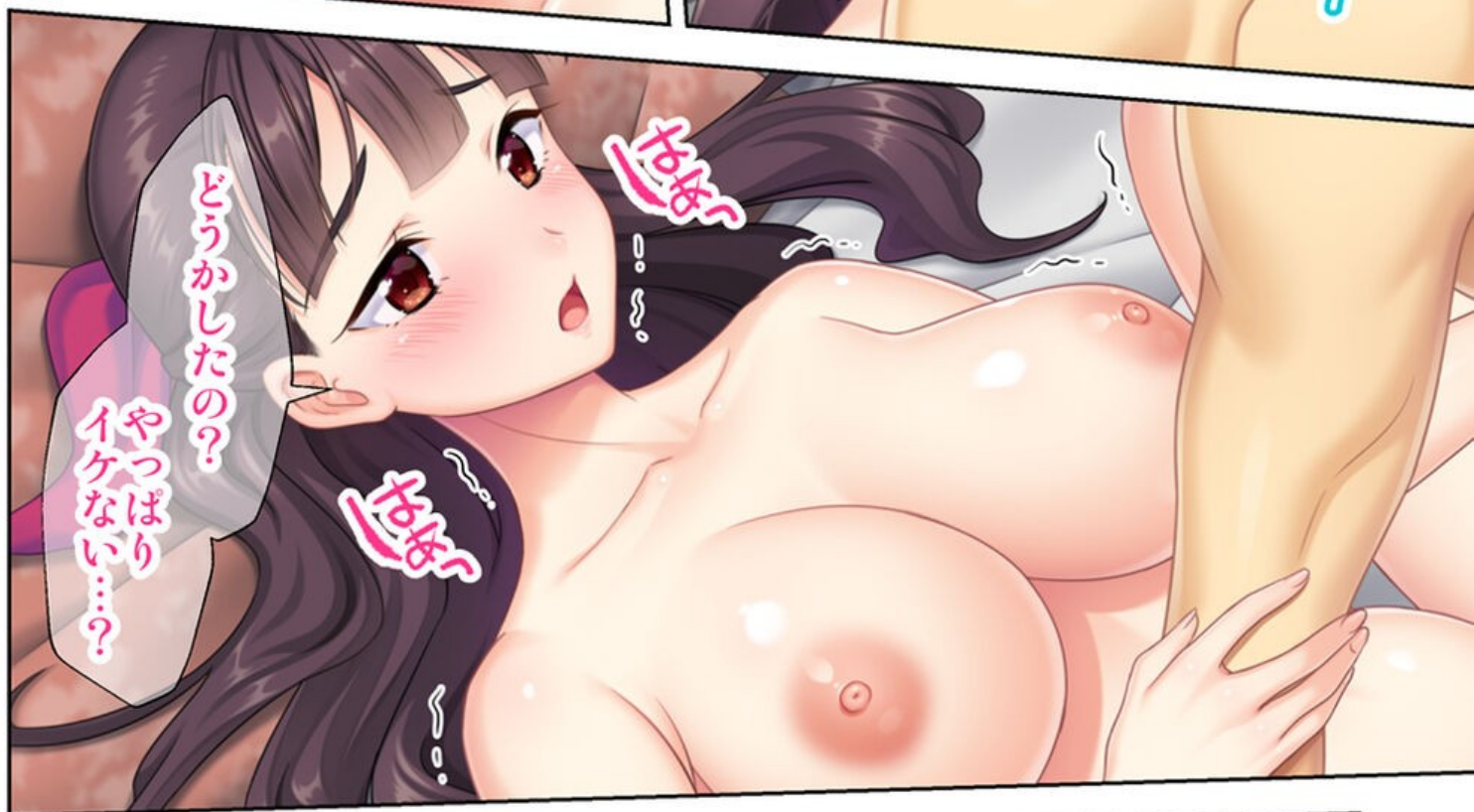


いいかな？





























他人の棒で  
感じてるんだね...

何度も  
言い聞かせられる  
うちに



んんおおっ



僕のじゃないペ○スで  
他人の棒で喘いでるのは  
事実だよな?

ち...ちが...  
いやああ...っ



は

はいよ...っ  
ほらいって...っ

僕のじゃない  
ペ○スで...!!  
他人のモノでっ!!

は

もっもおおっ



そんな考えが  
頭から離れなく  
なってしまう

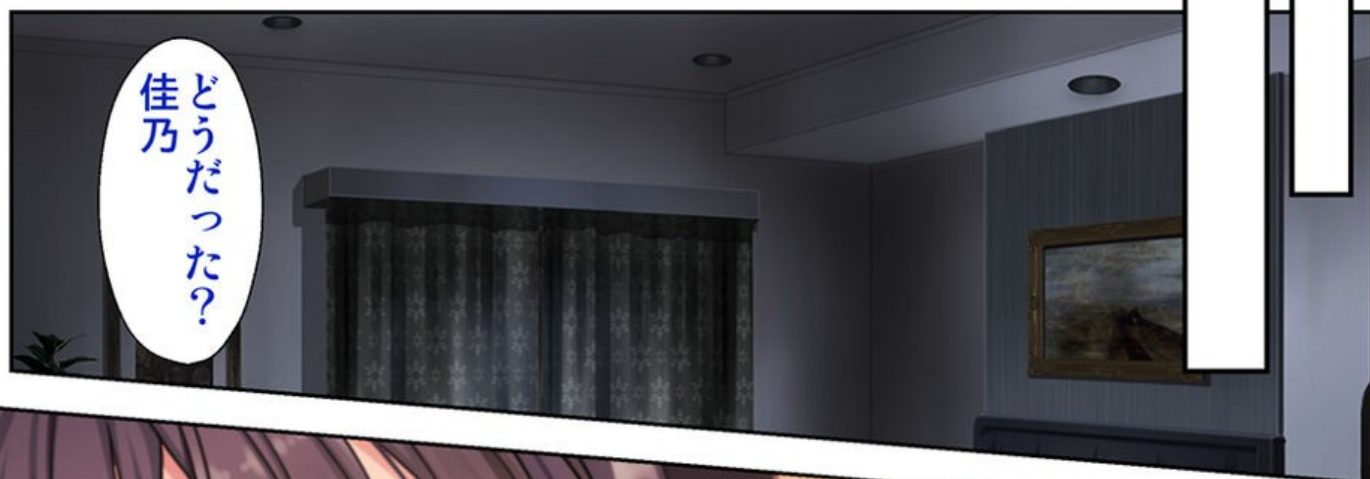
あ

あ

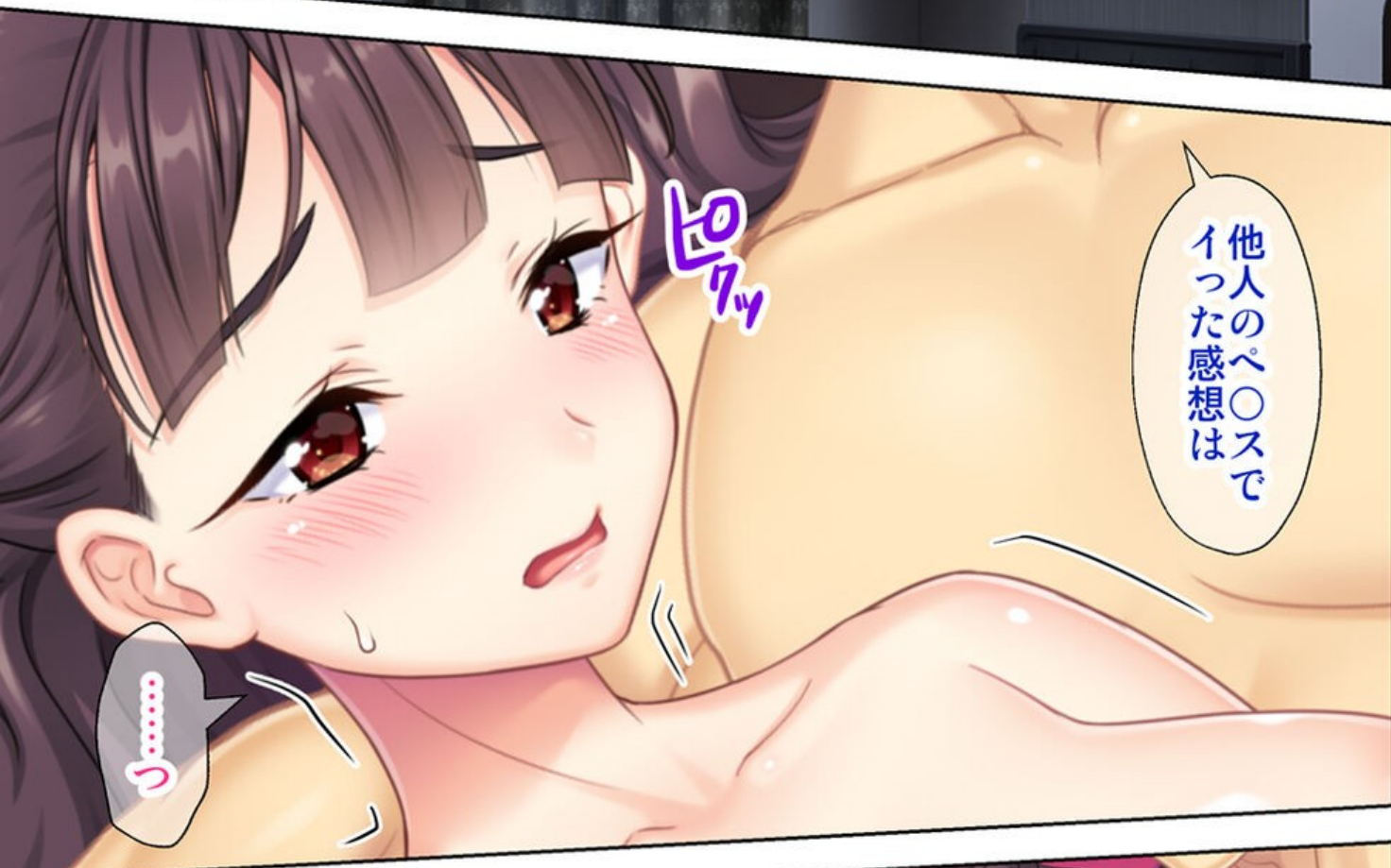








どうだった？  
佳乃



他人のペ○スで  
イった感想は

ヒッ

っ



もうっ

キッ

そんなこと  
言わないで…っ

僕のために…

一度でいいから  
他の男と

セックスして  
くれないか？

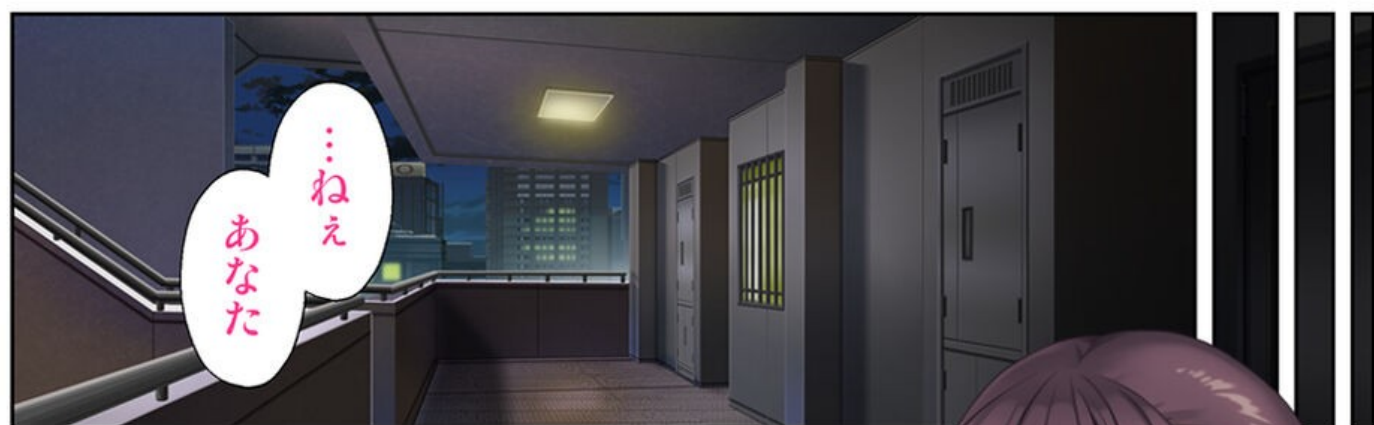














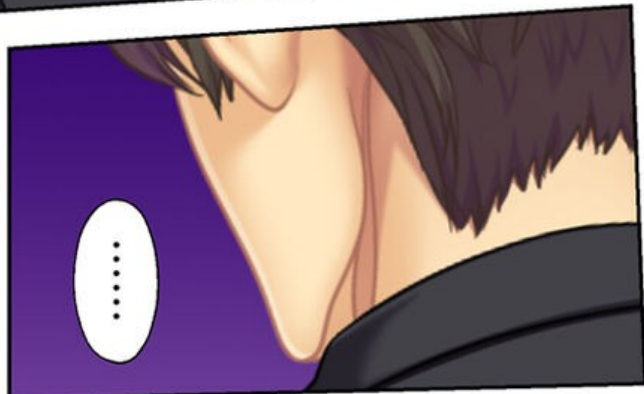


え…



—私の

せいなのかな？



…



…



私があなたを断わり  
お願いするから…

だから思いをしてるん  
じゃないかって…









ほ…本当に  
いいのか？



でも  
会っただけ…



賢一さんの気持ち  
はよく分かったから

だから…



会っただけ  
だからっ

それ以上のことは  
しないからねっ？



ああ…



それでもいい…？

















変な人とかじゃ  
なさそうだけど…



ちら

想像していた  
ような



どうした  
んだい？

二人きりで  
話すなんて  
無理よ…

佳乃…



それじゃ  
僕はこれで—

！



ちよつと  
あなた…っ

おす…













喜んでくれる  
なら…

きゅん



賢一さんが…



カチャ

どうぞ…



とうとう  
自宅に招いて  
しまった

お邪魔します



それから何度か  
堂島さんと外食をして

私はだんだん気が  
知れてきていた

そして賢一さんから  
お願いされたことも  
あって—













私にあなた方  
夫婦の営みを見せて  
もらえませんか？



そうだ！  
こういうのは  
どうです？



営み…  
つまり  
セックスを？

—っ



いつもより  
刺激を味わえると  
思いますがいかがです？



ええ

堂島さん  
何を言い出すの!?









別の…

場所なら…



別の場所？



私は二人に  
詰め寄られ――

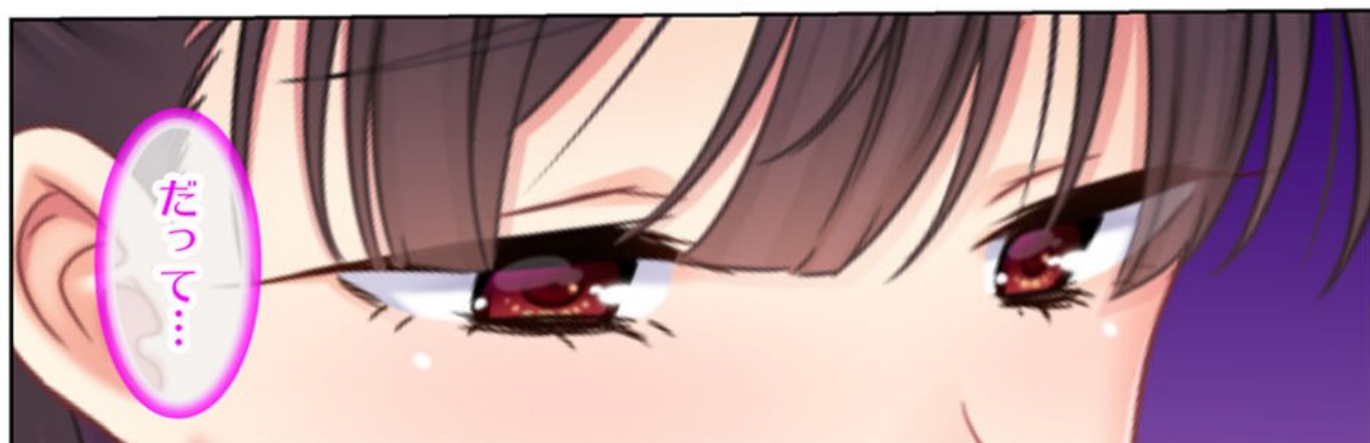
断るのが  
心苦しくなり…



家じゃなくて  
ホテルなら  
いいの？

ええ…

ゴクッ



だって…







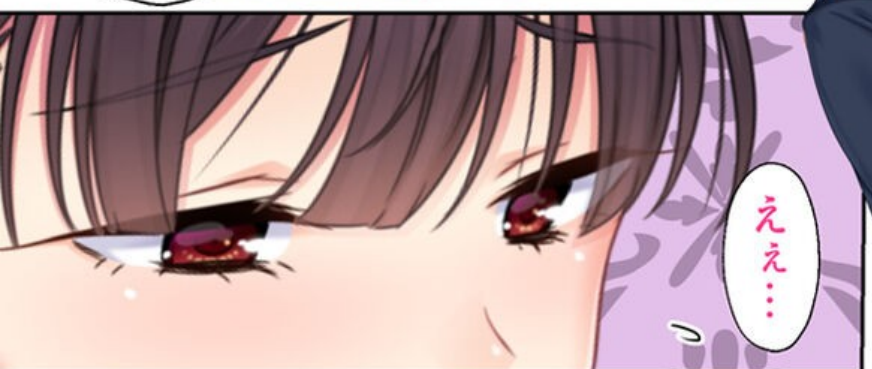


私はいらないものと  
思ってください



大丈夫

佳乃は僕だけ  
見えてくれれば  
いいから



ええ…

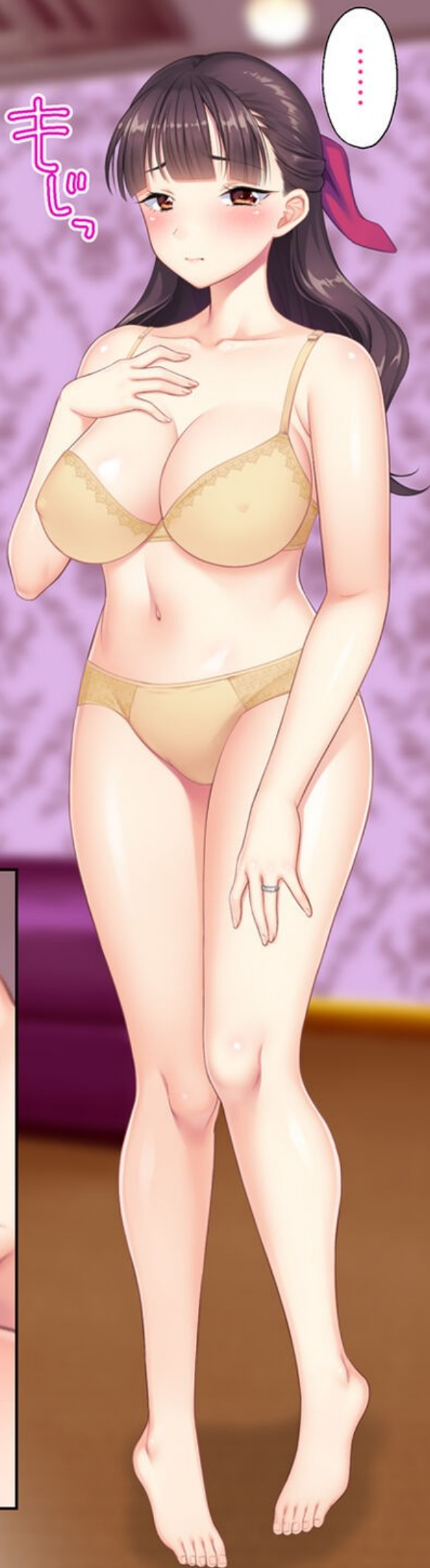


時間はたっぷり  
取ってありますから



ほら  
おいで？









：奥さん  
想像以上に  
お美しい

はあーっ



そうですねっ

佳乃の体は  
最高ですからっ



やっぱりこんなの  
恥ずかしい！

ヒック



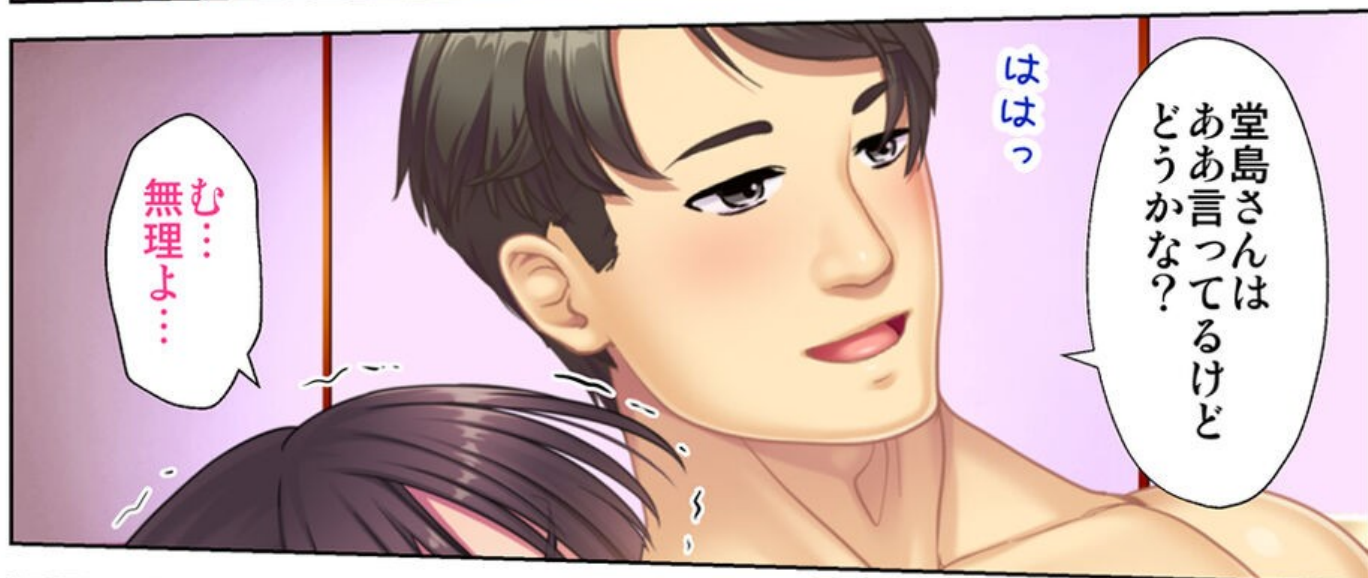


ぜひ見せて  
もらえませんか？

っ



下着姿も  
とても魅力的ですが  
生まれたままの姿は  
もっとお綺麗でしょうね



ははっ

堂島さんは  
ああ言ってるけど  
どうかな？

む…  
無理よ…



大丈夫だよ



このままじゃ  
ダメ…？

















…素晴らしい

ゴクッ

あ…  
あなたあ…っ



やっ…  
恥ずかしいっ

はーッ

はーッ

ゴクッ

ゴクッ?

グルン



佳乃…っ  
佳乃っ

はっ

はっ



ダ…ダメッ  
イツチャウ…

ビクッ

ああっ



奥さんがこんなに  
エッチだったなんて  
感激ですよ…

ビクッ

ちゅっ  
ちゅっ

ビクッ

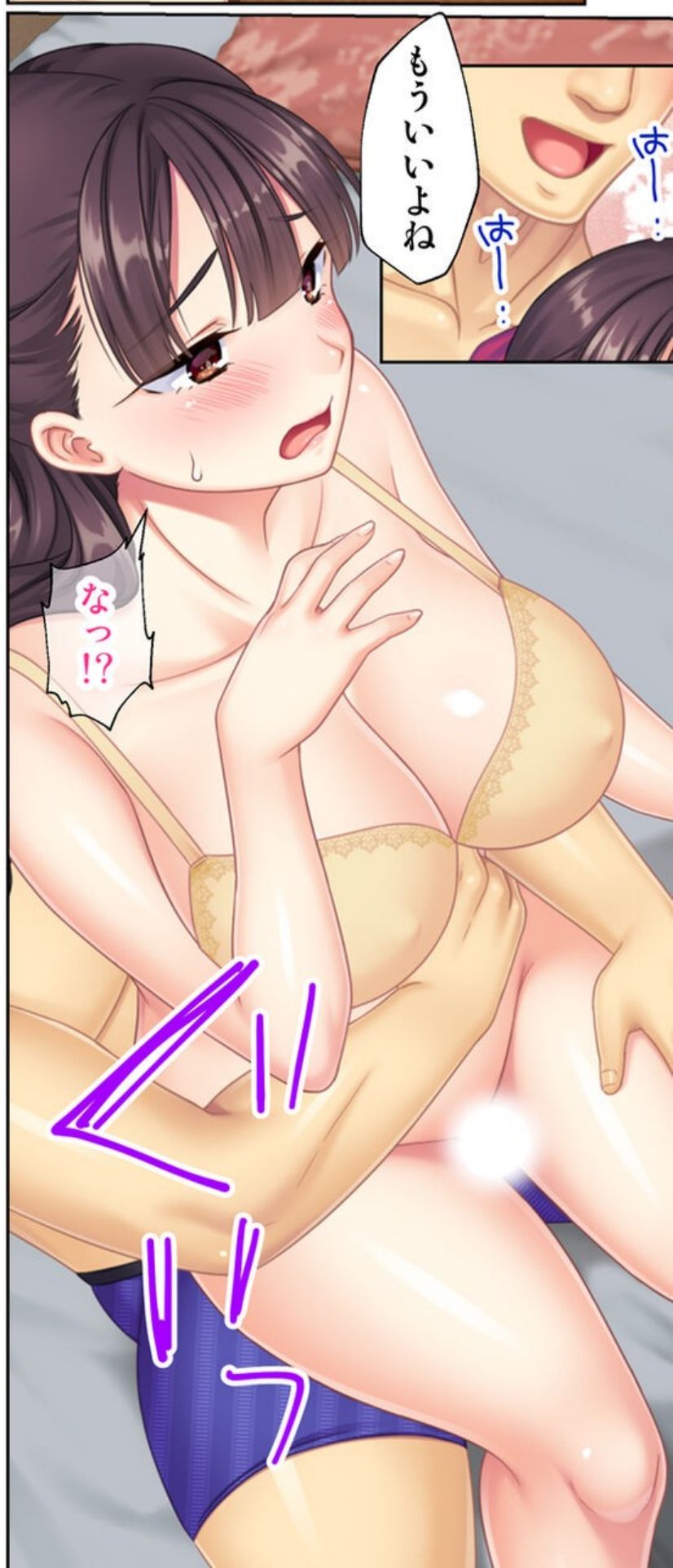
んっ

うわっ





























あまりにも  
奥さんが  
いやらしくて…



申し訳ない



嫌あ…っ

賢一さんとは  
まるで違う



佳乃っ  
佳乃おおっ

あああああっ

賢一さんと  
っっっっっっっっ…



ごつごつとした  
大きな手の感触





堂島さんとして  
いるような  
錯覚さえ  
覚えてしまっ……



あ…  
あなたつ  
わ…  
私も…



イツて下さいっ！

ひぐっ













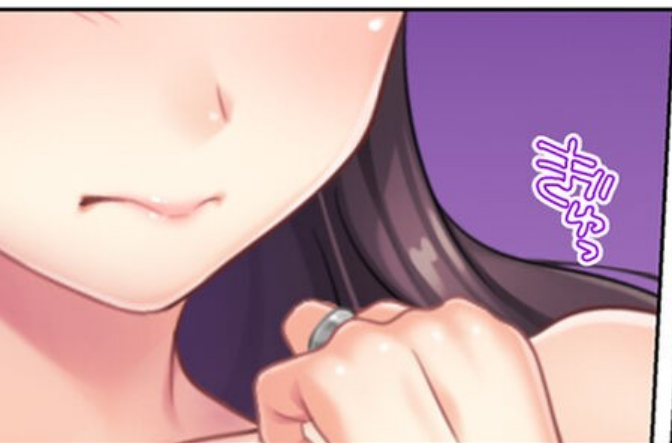








頼むよ…



きゅん



賢一さん…

私が折れれば  
喜んでくれるの…？



賢一さん  
なんだよ…

私が愛して  
いるのは



…わかりました

お手伝い  
…します



嫌ですか？

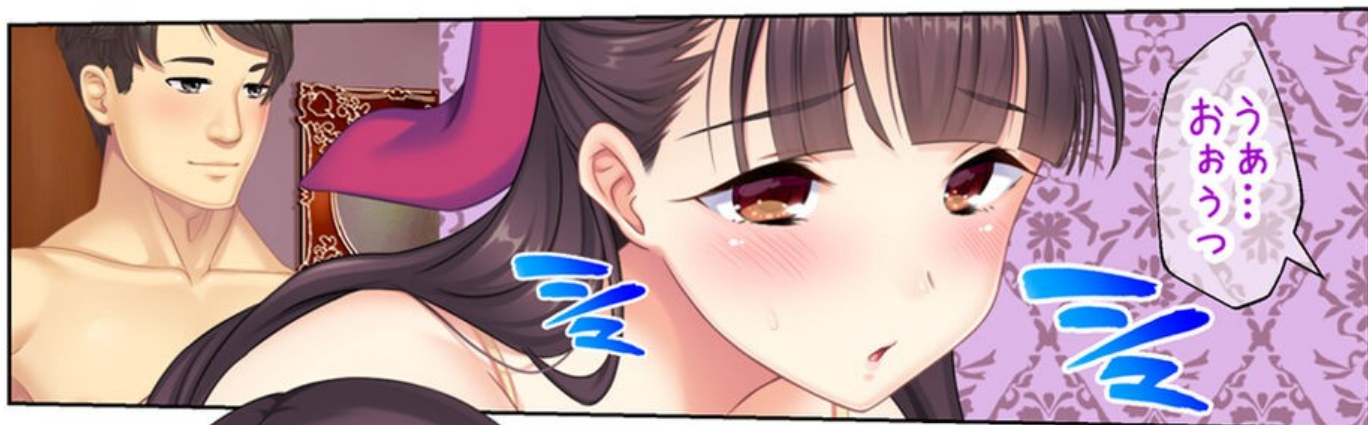
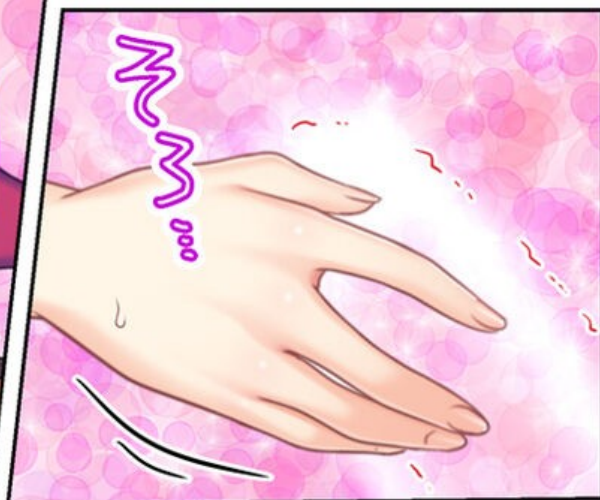


















賢一さん…  
私…

舌を  
伸ばして  
尿道口を  
舐めてみて  
下さい

ふん…っ  
ふう…っ

ちゅ

ちゅハ。  
ちゅハ。

ちゅハ。  
ちゅハ。

あなたの  
ために…

うぐう  
うぐう  
!!

ぐん













佳乃



そう……

すたすたっ



お疲れ様

すごく  
良かったよ



これからもどんな  
エッチで綺麗な佳乃を  
見られたら嬉しいな

もちろん無理には  
頼まないけど……

……っ



これから私……  
どこまで

求められるの  
かしら……

そして私は  
どこまで許すことにな  
るのだろうか――



ある休日

賢一さんに  
誘われ

ショッピングに  
行った帰りに  
道に



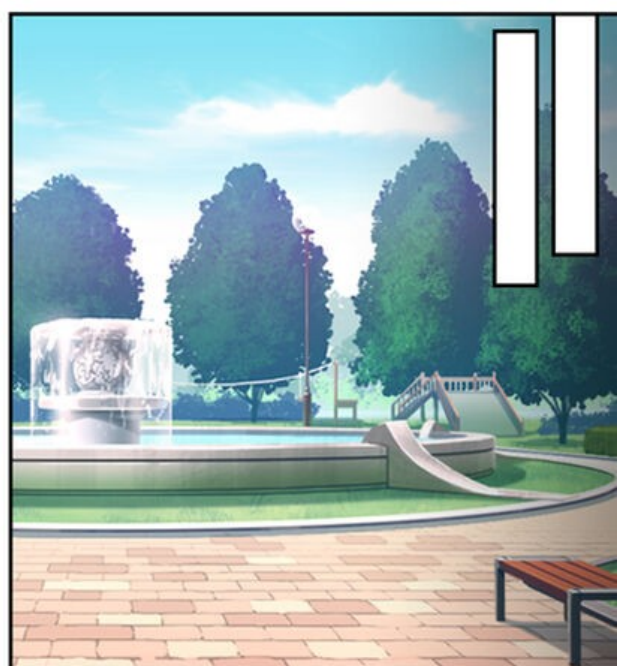
え……うん……

家はすぐ近く  
なのに休憩……？



……ふう

公園で少し  
休んでいかない？











































もっと  
見せて欲しい…  
もっと佳乃の  
いやらしい姿をつ

はあ

はあ



あなた…  
ゆっ…指がつ

くう…っ

むに  
むに

むに  
むに



あああっ

むに  
むに

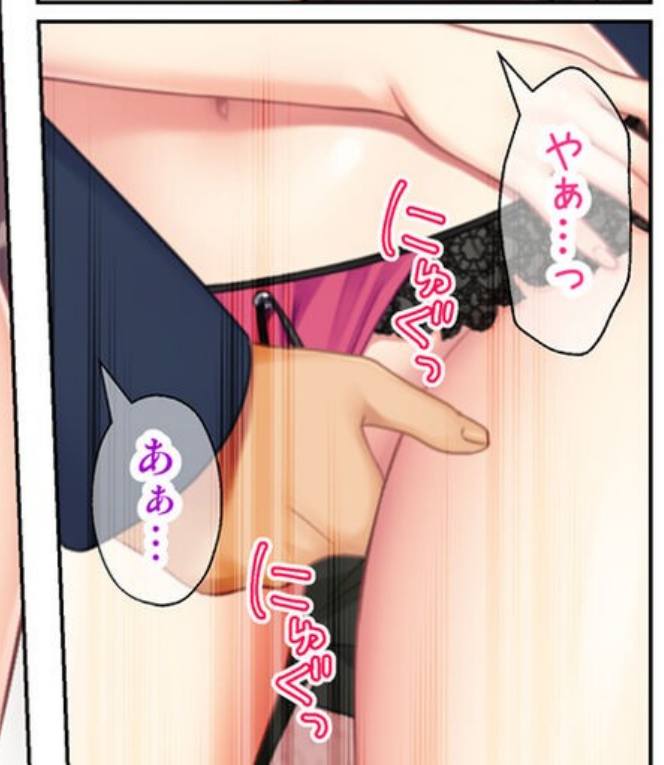
にゅ  
にゅ

賢一さんの望みは  
他の人に抱かれてる私…



甘い考えだった













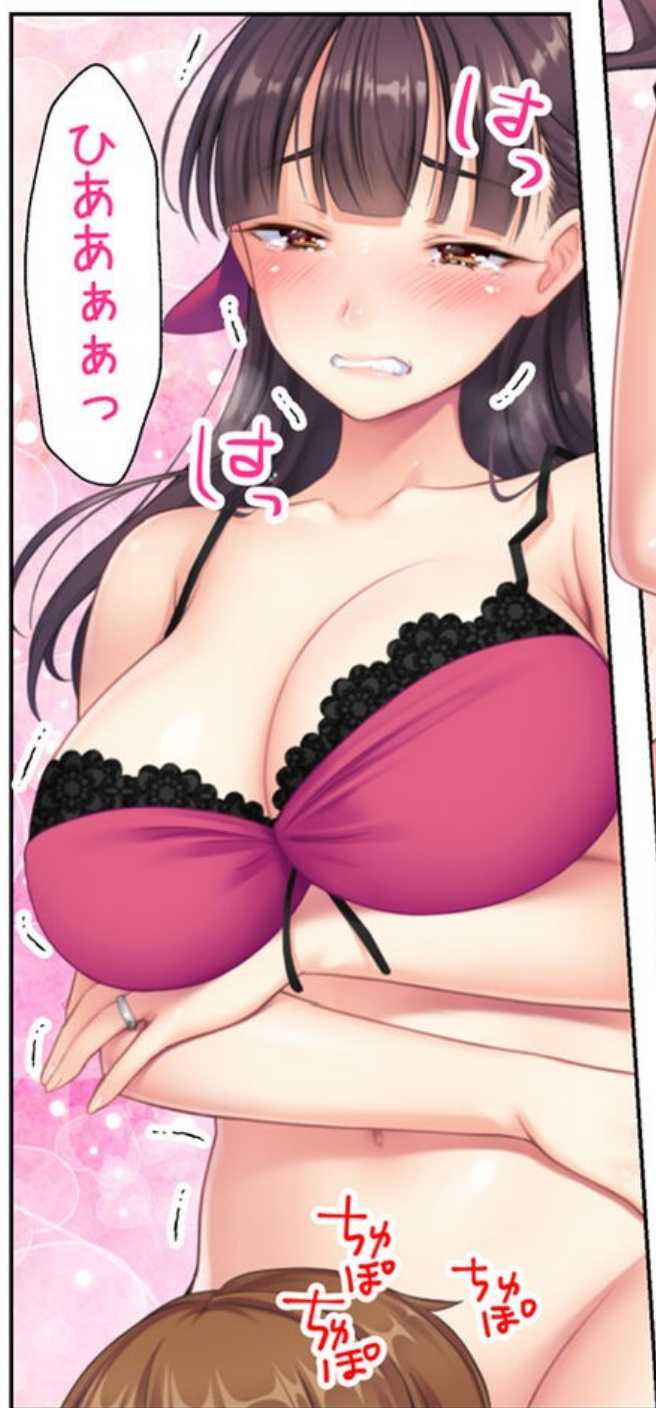




やつ…  
イツちやいそつ…

私…つ

はる…



ひあああつ

はつ

はつ

ちゅぽ  
ちゅぽ  
ちゅぽ



それなのに…

だ…ダメ…ツ

私の身体を  
蕩かしていく

ダメエエ…ツ

はるはる









私に任せて  
おいてくれれば  
大丈夫ですから



あ...やあつ

どうして  
こんなことに...



大丈夫ですよ



あっ...

にゅにゅ

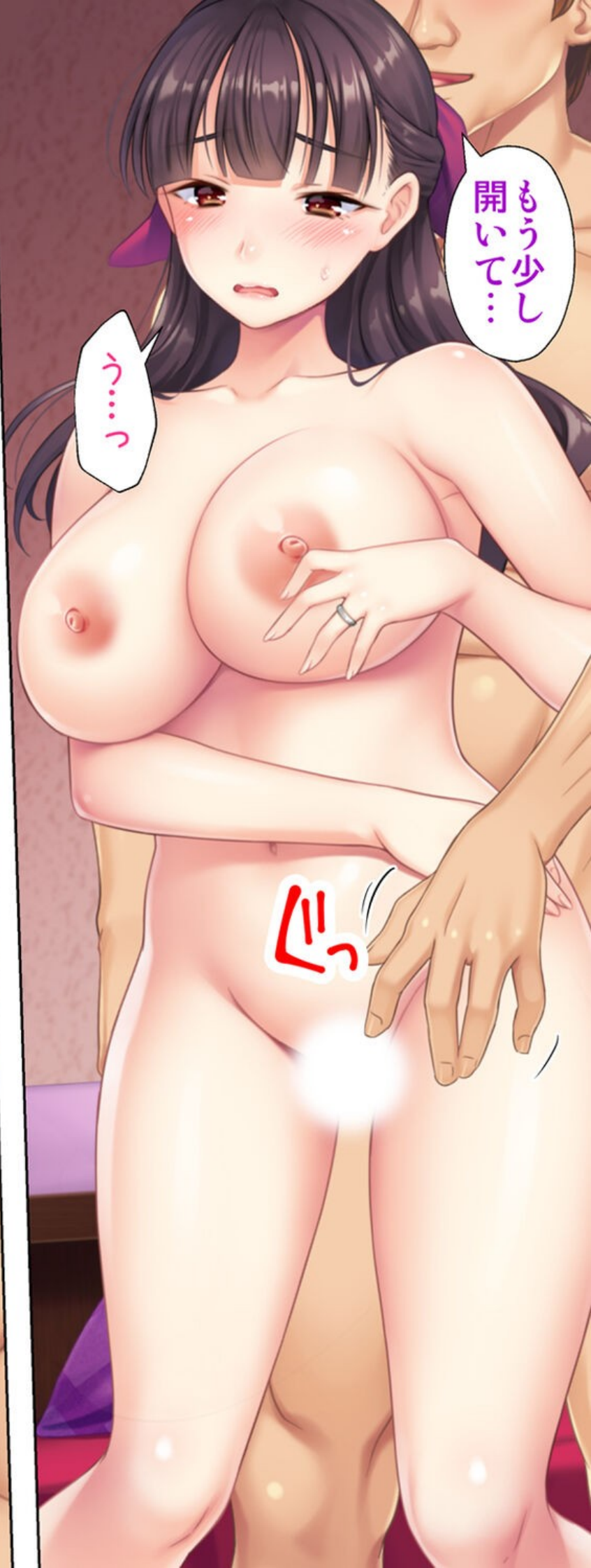
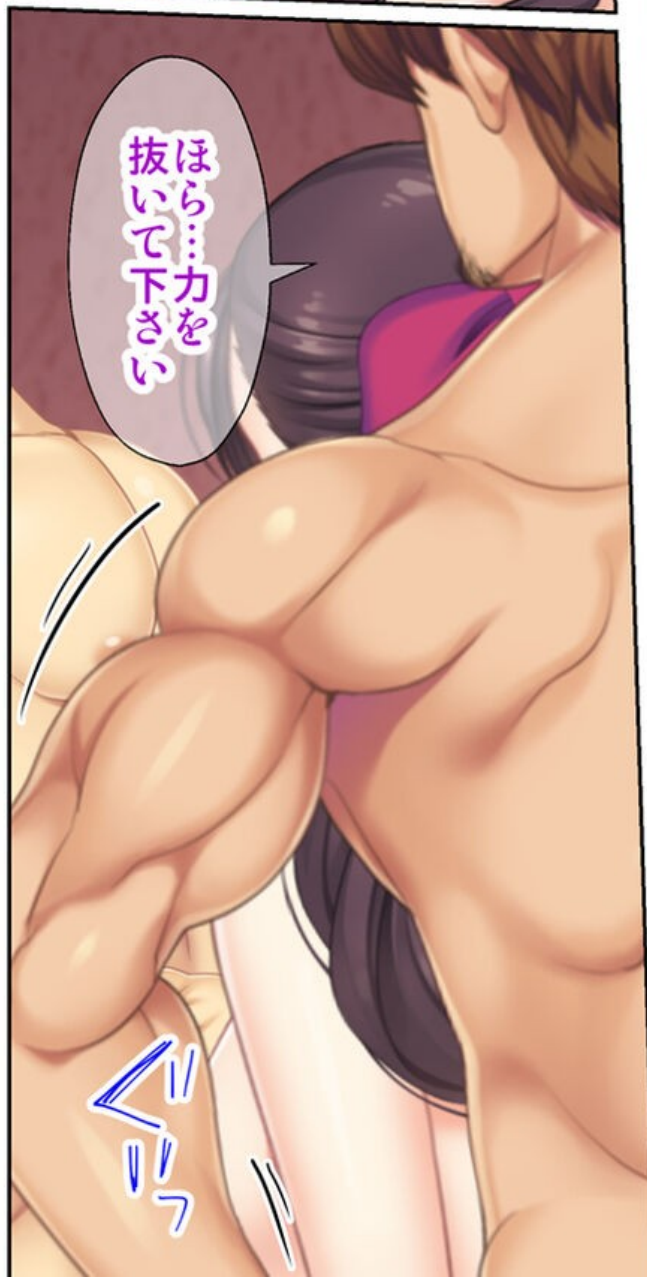


リラックス  
して下さい















奥さんの太腿を

お借りする  
だけですっ

そっ  
そんな…っ

あっ

はっ

堂島さんの  
おち〇ぽで—

はっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

擦られてる…っ

あっ

ぐんぐん  
ぐんぐん

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

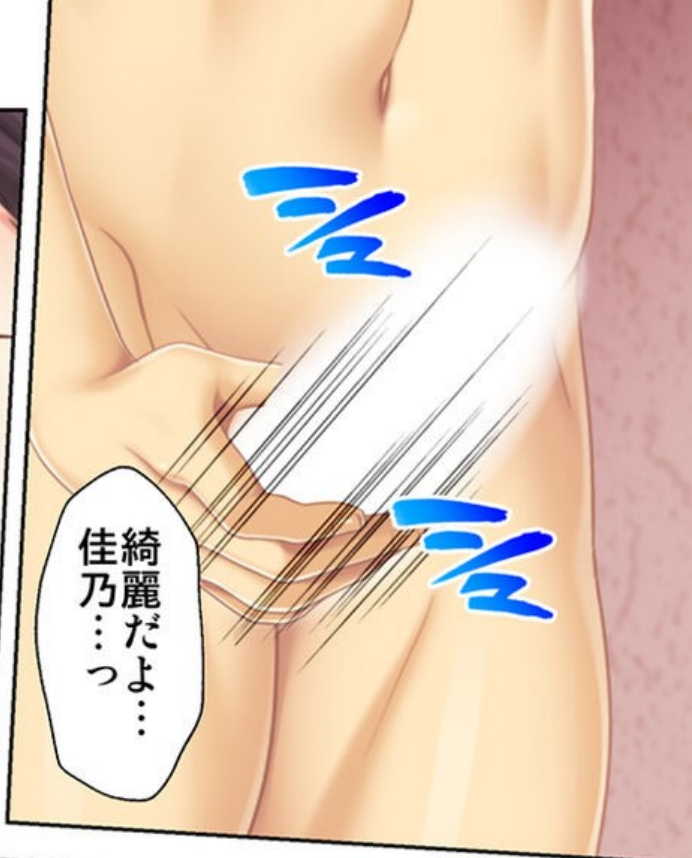








賢一さんが  
喜んでる…っ



綺麗だよ…  
佳乃…っ



なっ

ダメツ  
そんなの…  
ダメエエ…ッ



こんなに激しく  
していたらっ  
うっかりオマ○コに  
入っでしまうかも  
知れないですねっ

ほっ  
っ

ほっ

じゅわっ  
じゅわっ

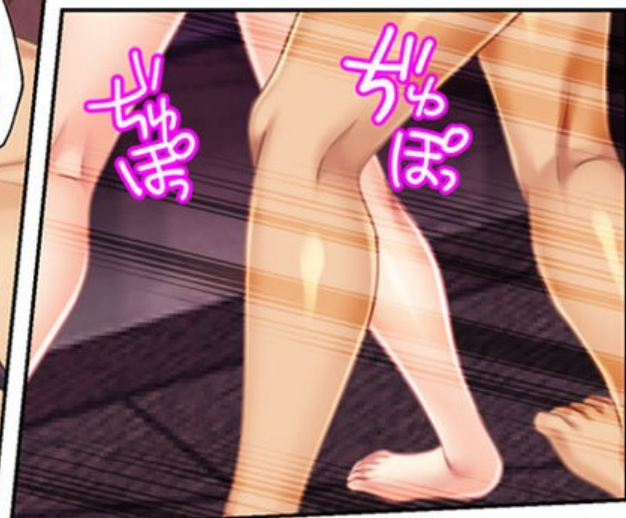












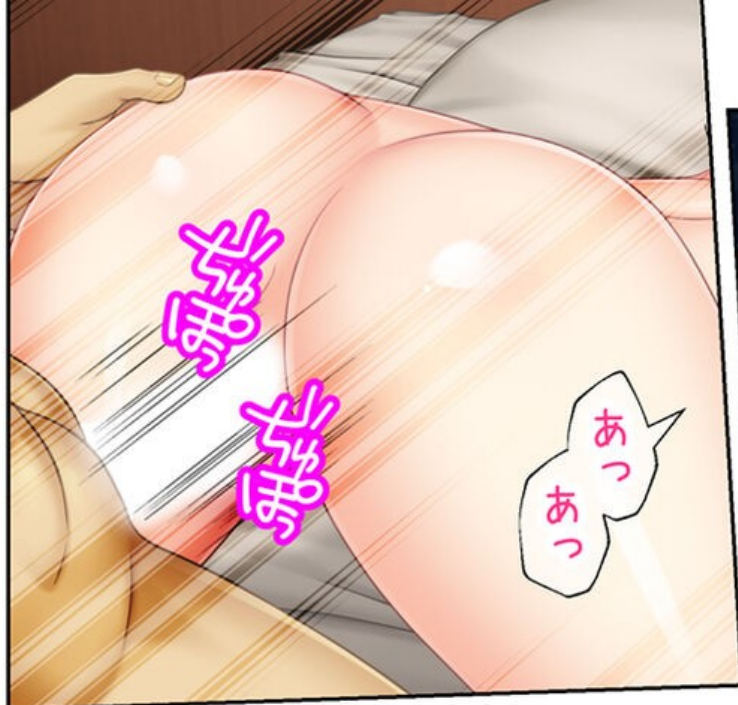




















本当かな？  
逆に言えば…

ゴムさえして  
いれれば  
拒まなかつ  
たんじゃない  
かつ？



んっ…  
ゴムしてても  
断わってたからっ…



そっ…

そんな事  
ないわ…





ええ…

私の答えに  
興奮してくれる  
賢一さんに

は



はあ…はあっ…

本当だね？



でも賢一さんが  
喜んでくれることは  
私にとって—

少し  
理不尽さを  
感じてしまう  
けれど…



賢一さんっ…  
きてええ…

ぐり  
ぐり  
ぐり

な…中に  
出すよ

















他の人にも  
出されたりする  
ことになるの？

それ以前に――



セックスをして  
しまうの…？



不安で押し  
潰されそうだよ



そんな不安が  
頭をよぎりつつも…

賢一さん…

今は信じること  
しかできない――





——あれからも  
堂島さんと  
ホテルで会い  
セックスまで  
至らないものの…



口にごそ出さないけど  
賢一さんにして  
もらう時よりも——



イクまで愛撫される  
というのを  
何度か繰り返した



本当なら  
こんなこと——

気持ちいいと思つて  
しまふ瞬間もあった



続ける  
べきじゃない

だけど……

…頼むよ

どうしても拒めず  
受け入れてしまう

いつしかそれでも  
いいのではと……

堂島さんと肌を  
重ねている事に

慣れてしまったの  
だろうか……

ただ私は辛うじて……

一線を越えては  
いないという

自分の貞操に  
安心していた

♡





賢一さんは  
家を出る前からずっと  
気を張っていたから…



そんな日々が  
続いたある日――

今日は何となく  
今までとは違う  
気がしていた



いつも通り  
気持ち良くなる  
だけです

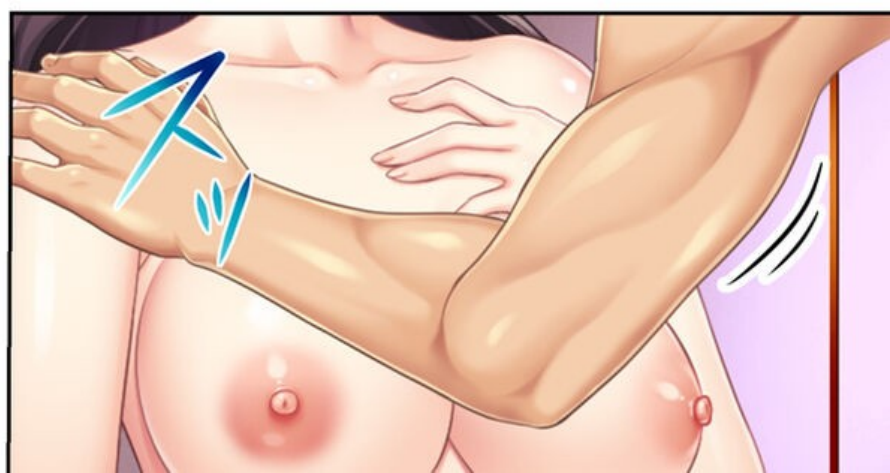
それじゃさっそく  
始めましょうか――



…今日は  
どうするの？



これまで  
パイズリを  
したことは？







…してもらえ  
ませんか？

胸でそういうことを  
するという知識は  
あったけれど



え…でも…

今まで試した  
ことはなかった

あら



いえっ…  
ない…です



旦那さんも  
望んでます

……っ



僕はかまわないよ



…わかりました

どうすれば  
いいんですか？









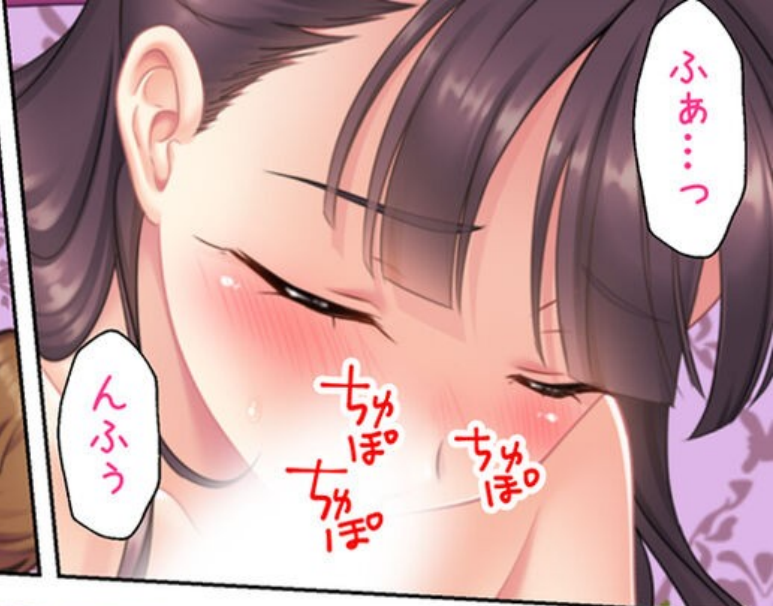




そう…奥さん  
上手ですよ…

チュパ  
チュパ

チュパ  
チュパ



ふあ…っ

んふう

ちゅぽ  
ちゅぽ

ちゅぽ



佳乃…

ダメッ…違うっ  
これはあくまで  
賢一さんのため…



褒められると喜びを  
感じてしまう…

じゅわっ

ぴゅん

ぴゅん



んんっ

ぎゅるるる

そう私は内心で  
こみ上げる嬉しさを  
否定していた…













はぁ、

はぁ、

ふふ奥さん…おつゆで  
グシヨグシヨですよ

そろそろ熱いのが  
欲しくなってきたん  
じゃありませんか？

ひたひた

ひたひた

ひたひた

そうですか？  
それなら…

い…入れられる!!

だダメ…  
それは…っ

遠まわしに  
セックスへ  
誘ってる…？









…と想像してください  
さあ…もつとよがって  
いいんですよ



これはただの指ですよ…  
でもこれかもしも…

私のチ○ポだったら…?

く  
ちゅ  
く  
ちゅ



ダッダメ…ッ

私もう…っ



どうです?  
私のチ○ポは?

に  
ちゅ  
に  
ちゅ





ほらいいですよっ  
チ○ポでイッて  
いいんですよっ!!

ほらっほらっ!

「うぐっ」

いやあ…っ

「うぐっ」



どうなんです  
奥さん?

それとも本物の…

チ○ポ  
ほしいですか?



イキそう…

はっ

はっ

私の体こんなエッチに  
なっちゃったの…





























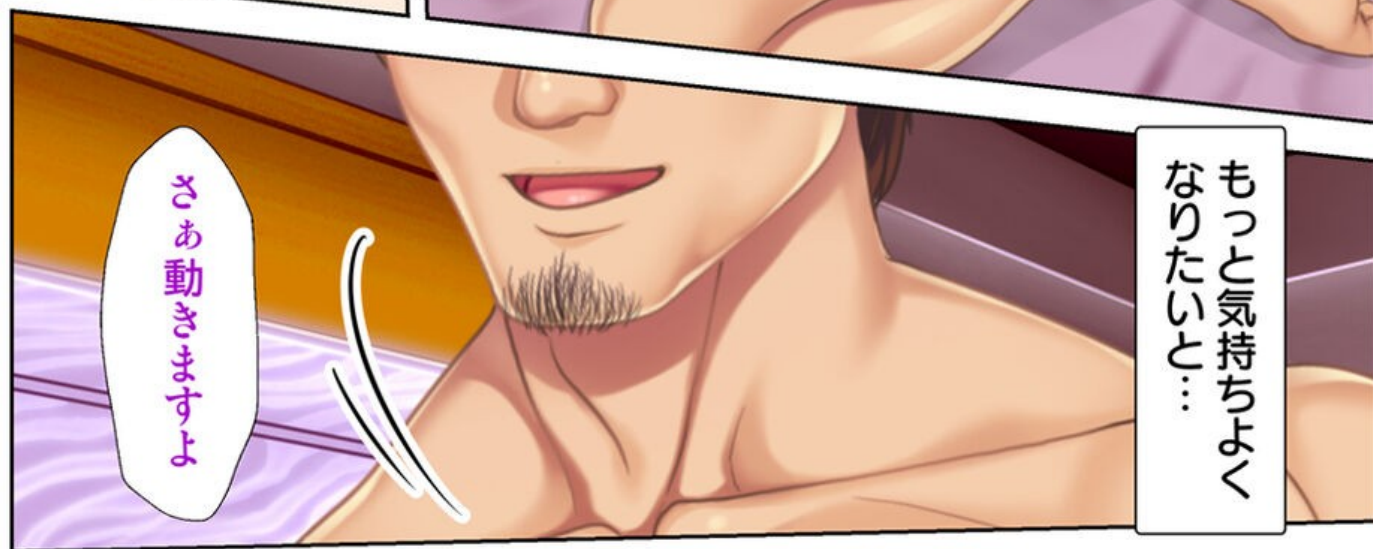
んんう……っ

私は望んでいたの  
かもしれない



体がこれから  
起こることを

期待して疼く



さあ動きまますよ

もっと気持ちよく  
なりたいたいと……



賢一さんとは違う

まるで私の理性を  
崩すような動き

あ

あ

ズズズ

ズズズ





あ、あ、あ

こんなのお…っ

あ、あ、あ

あ、あ、あ  
気持ちいい  
気持ちいい…っ

は、は、は

たっぷり感じて  
いいんだよ

は、は、は

[illegible]

あ、あ、あ

こんなのお…っ

あ、あ、あ

あ、あ、あ  
気持ちいい  
気持ちいい…っ

は、は、は

たっぷり感じて  
いいんだよ

は、は、は

[illegible]

あ、あ、あ

こんなのお…っ

あ、あ、あ

あ、あ、あ  
気持ちいい  
気持ちいい…っ

は、は、は

たっぷり感じて  
いいんだよ

は、は、は

あ、あ、あ

こんなのお…っ

あ、あ、あ

あ、あ、あ  
気持ちいい  
気持ちいい…っ

は、は、は

たっぷり感じて  
いいんだよ

は、は、は

[illegible][illegible]

あ、あ、あ

こんなのお…っ

あ、あ、あ

あ、あ、あ  
気持ちいい  
気持ちいい…っ

は、は、は

たっぷり感じて  
いいんだよ

は、は、は



賢一さん  
ごめんなさい…

はぁ

はぁ

らめえっ

ほらもつと感してる  
顔を見せて  
あげたらどうです

チュパ  
チュパ

堂島さんの…

インザ

おち〇ぽで  
こんなにも…

ズッ  
ズッ  
ズッ

よがり狂って…

ほらオマ〇コが  
ギユウギユウが  
締まってきたっ

♡  
♡  
♡

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

こんなに…  
気持ちよくなって

どっ 堂島さん  
もう…っ

♡  
♡  
♡





もっと当ててあげますよ  
好きにだけ乱れて  
イキまくってください

激しいっ  
おち〇ぽが奥に…  
奥に当たっちゃうううっ



私も…もう  
イキますっ



腰の奥から  
こみ上げた快感が

我慢しても背筋を  
通って頭を突き  
抜けていく…













そんなの…

隠すことない  
じゃないか



僕のと  
堂島さん——

どっちのチ○ポ  
気持ちがいいんだ？



うう…っ



夫婦なんだから  
本当のことを  
言っているんだよ



そっそれは…

かあ



そんなの  
選べない…

ただ身体が反応  
しちゃっただけで…

分かってるんだが  
堂島さんのほうが  
いいんだろう？

これからも  
お願いして  
いいかい？

う…うん…

そう言ったら—

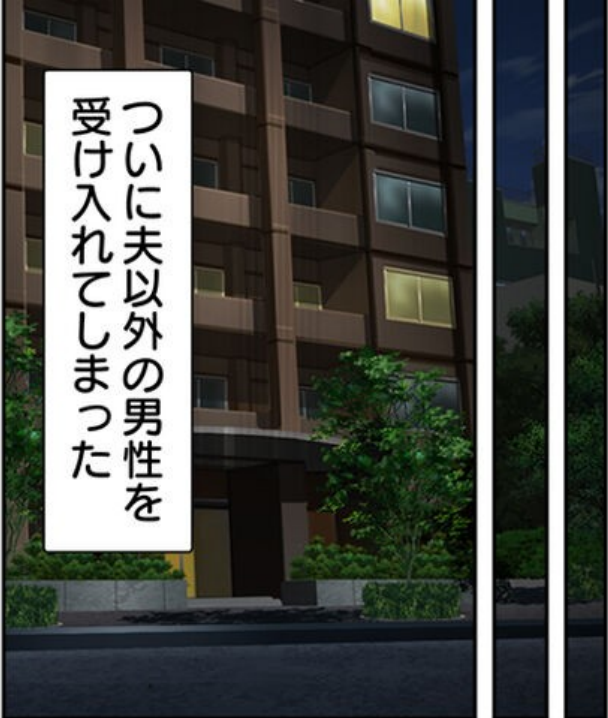
本当にこれ続けるの  
と言いたかったけど…

ありがとう

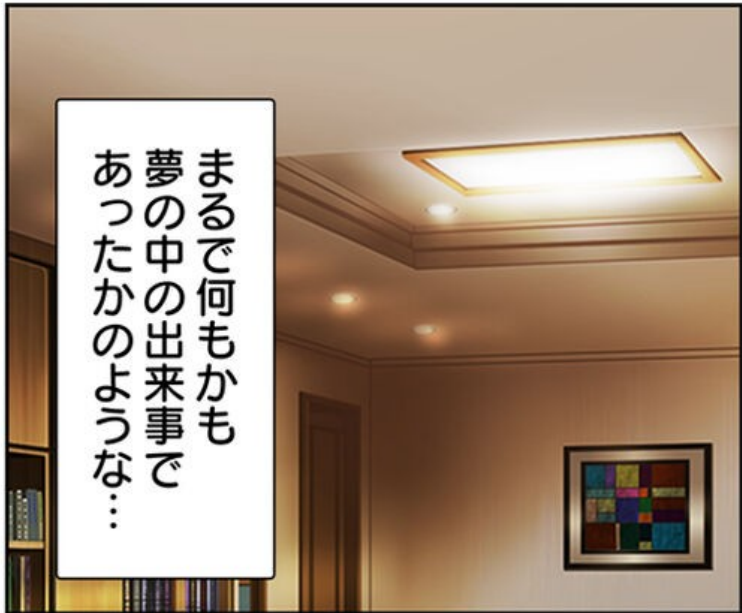
本当に嫌だったら  
言ってくれて  
構わないからね

落胆するだろうと  
切り出すことが  
できなかった

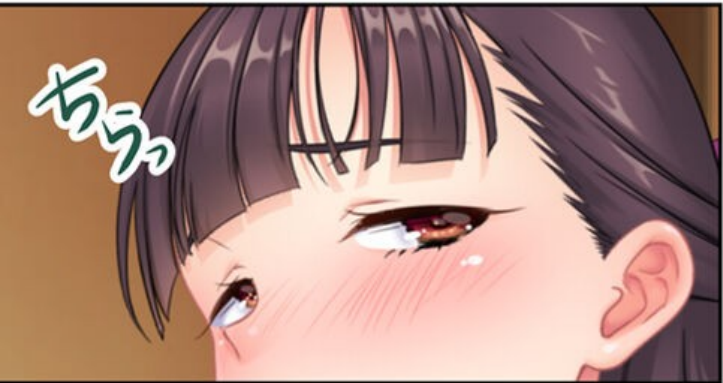




ついに夫以外の男性を  
受け入れてしまった



まるで何もかも  
夢の中の出来事で  
あったかのような…



そんな気さえ  
してくる…



いろいろと  
思うところは  
あるのだけれど



なあ佳乃

明確な事実で…



賢一さんが  
喜んでくれると  
いうことだけは













自分でも  
何故こんなこと  
までして

でも——  
今の私が  
悲しんでるかも  
知れないわよ？



すま……

分かったわ……



……なんてね

よく分からない



佳乃……

ついて行く気にな  
ってるのか——





数日後――



お待たせ  
しました

では後のことは  
任せて下さい

はい

くれぐれも  
よろしく  
お願いします



さっ  
さっ  
行きましょうか



…  
お願いします









大事な奥さんが  
他の家に上がり

セックスしたって  
知ったら…



ホテルとは  
訳が違う

彼のプライベートな  
空間に侵入するの  
だと思うと

気が引けて  
しまう



え……



そう  
いわれると…

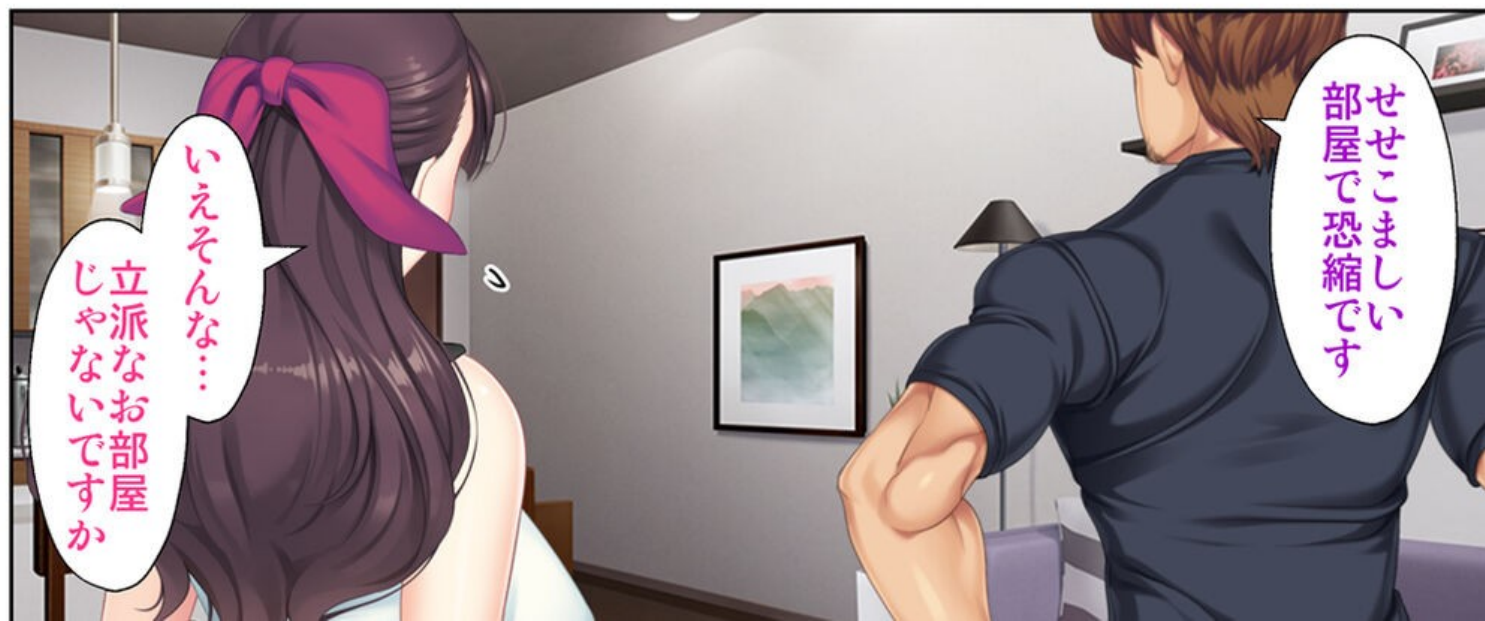
喜んでくれるなら  
私はそれに応える  
べきだと思った



きっと旦那さん  
とても興奮する  
んじゃないかな？

これは賢一さんの  
ためにしている  
こと——













!



さ…こちらへ来て  
ベッドに座って下さい



録画って…っ



これって…



聞いてませんか？

旦那さん用に  
録画するんですよ

な…っ

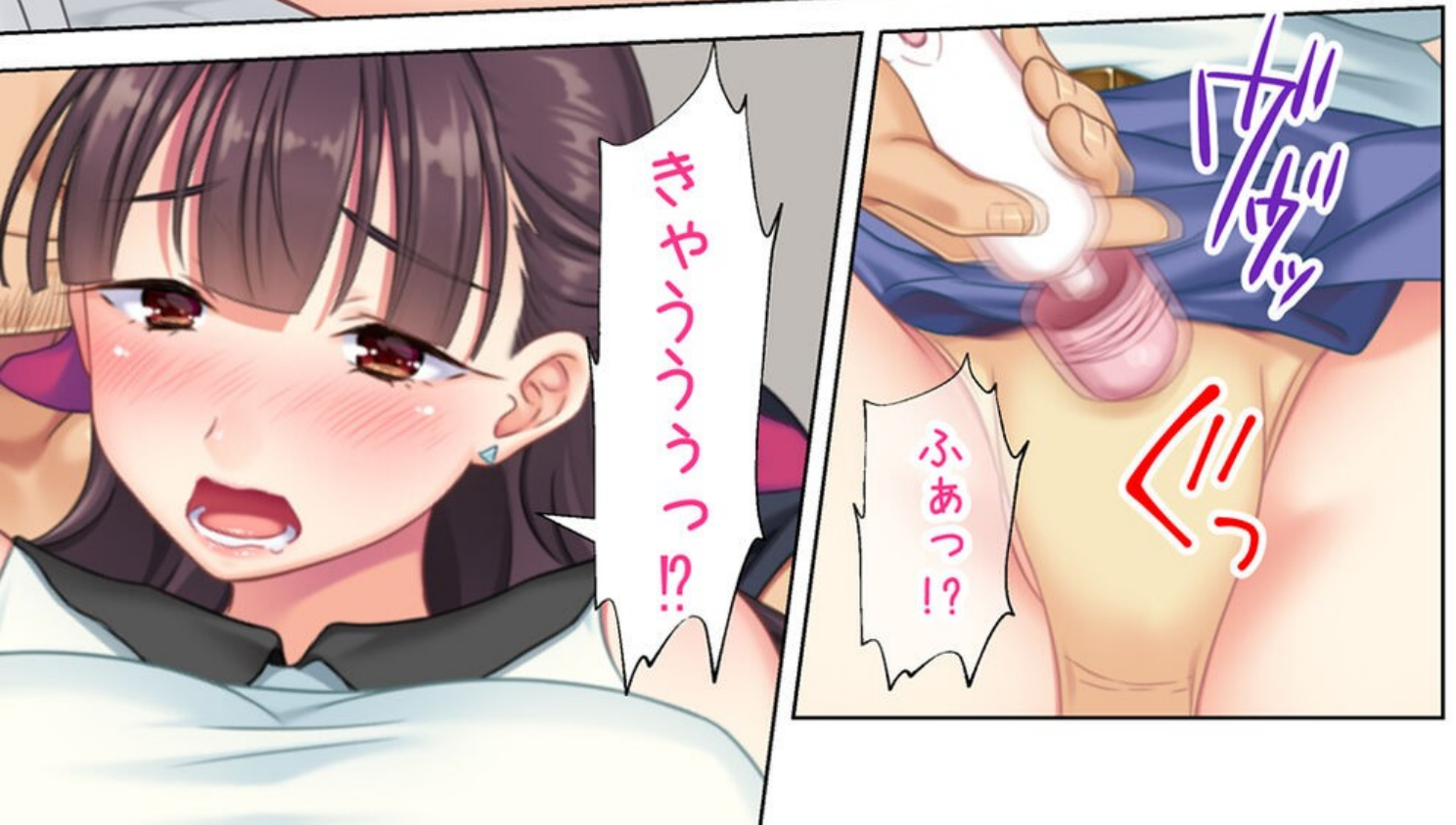












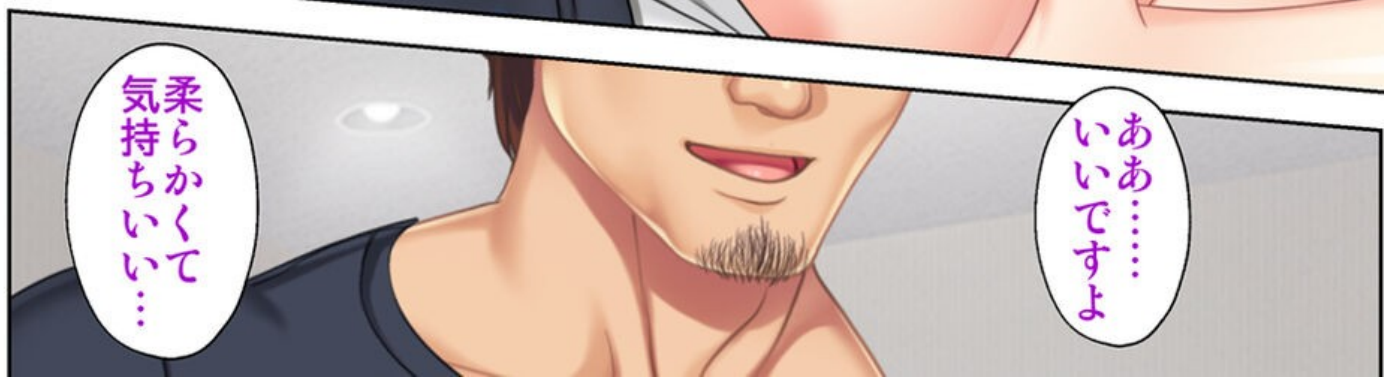








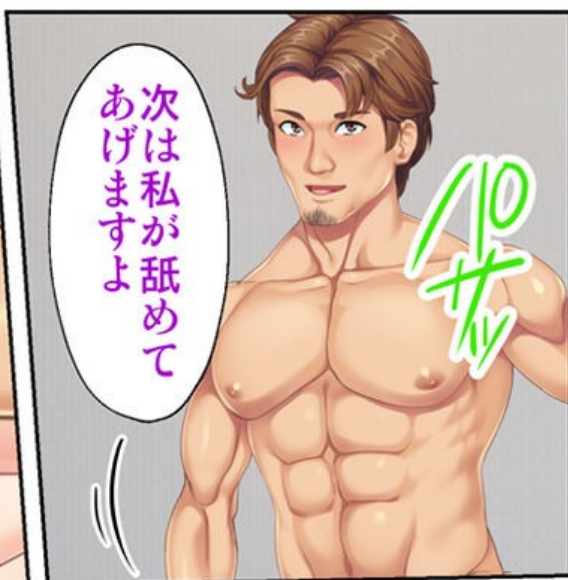




















私も…っ  
堂島さんを…

はあ

はあ、

ぴらッ

ズッ

気持ちよくして  
あげたい…です…



ぴくッ

……ッ

それは  
ありがたい

…なら  
これで  
どうですか







欲情した私の  
身体を突き動かす

こんな格好でなんて  
賢一さんともしたこと  
なかった…っ

夫ともししていないことを  
今堂島さんとして  
しまっている

まよ

まよっ

だめえ...

それが私に  
奇妙な興奮を  
もたらしてくる

ひいっあっ

ダッ…メえっ  
また……っ

イクイク…ッ

ぐぐぐぐ

りりりり

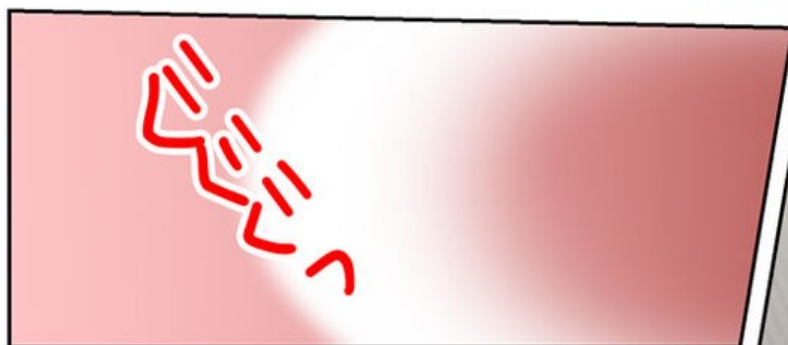
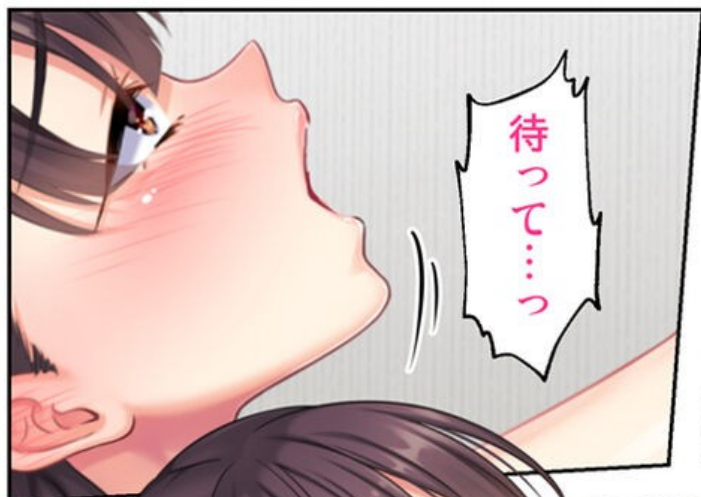
ひいっあっ

イクイク…ツ















当たり前のように  
堂島さんのおち〇ぽを  
受け入れてしまう

あ

あ

やっぱり生は  
違うでしょう？

ズ  
ズ  
ズ

粘膜同士が  
馴染んでますよ  
こうして動いても…

ズ  
ズ  
ズ

そ…そんなつ

生でセックスを  
許してしまったと  
いう罪悪感…

あ

イツちや…

あ

ホントだめえ

それが突き入れられる  
おち〇ぽの感覚で  
奪われていく

生チ〇ポで  
初イキをして  
くださいっ

はあああ

ぐ

ど  
ど  
ど

あ

そんな…っ







生で挿れられて  
こんなにも――

さあイクんだ  
私の生チ○ポで  
何度でも…

はしたなく簡単に…

夫以外の男の人と…

はぁ

はぁ

ダメなの…  
変になるっ

ぐぽっ  
ぐぽっ  
ぐぽっ  
ぐぽっ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ねえ…奥さん  
中で出していいですか

はぁ♡

え…っ  
それは…っ

万が一を備えて  
ピルは飲んで  
きてるけど…

いいでしょう？

外に出すなんて  
もつたいないか  
じやないですか

ズン  
ズン  
ズン

で…  
でも…っ



いくらなんでも  
それは…

ぐんぐん  
ぐんぐん

ぐんぐん  
ぐんぐん

ふあああつ

そんなの…

あゝ

あゝ  
あゝ

中で熱い〇液が  
はじけてっ

ぐんぐん  
ぐんぐん

きつと奥さんも  
最高の絶頂ができる  
かもしれない

はう…

だめえ…  
そんなこと  
言わないでえっ

ぐんぐん  
ぐんぐん

判断ができなく  
なっちゃう…

今もこんなにも  
気持ちいいのに

さらに気持ちいいのが  
来るなんて考えただけで…

はあ

はあ

絶対に気持ちいいですよ  
それを逃してしまつて  
いいのかい？

ピル飲んでるし  
少し……

くらいなら…





それでこそ  
奥さんだっ!

旦那さんも  
これを見たら  
喜びますよ

ぽんぽん



クッ...

え...っ



ダメ...だけど  
本当はダメだけど...

はあ

パン

きよ...今日だけ  
今日だけなら...っ

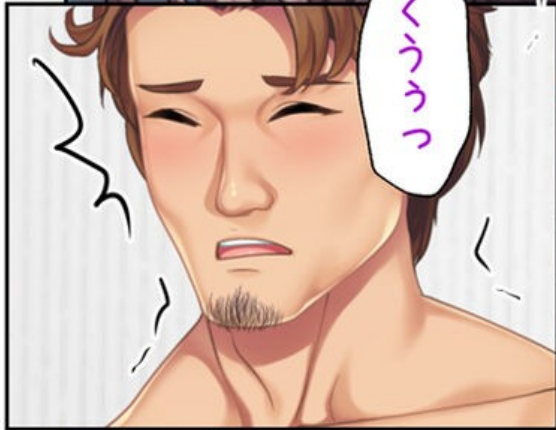
して...いいです...

パン

ゴゴ

パン

















…嫌になって  
しまいましたか？

……



そんな…

賢一さんは  
最初から…



こうして旦那さんに  
言われるままに

私と肌を  
重ねるのは…

嫌ですか…？

……ッ



この関係を  
解消したいとも…  
思っていない



嫌ではないです

……





よかったそれを  
聞いて安心しました

実は：  
奥さんと  
ちよっと  
旅行がしたいなと  
思いました



すべて  
賢一さんのため  
ですから……



…旅行？



いえ…  
知りませんよ

え…っ？



まあ旅行と  
言っても

一泊程度の  
ものですよ…

そのことも主人は  
知ってるんですよ…





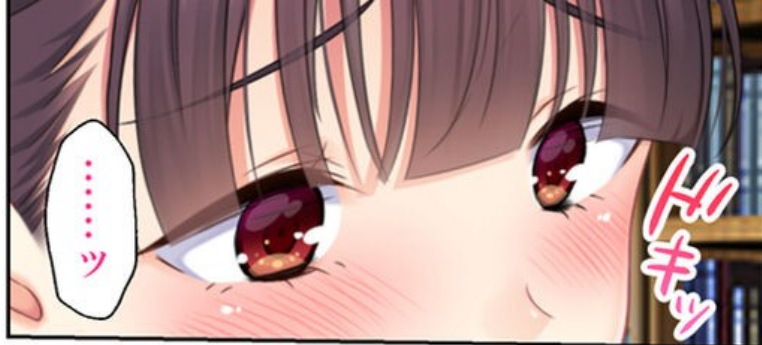


その辺のホテルで  
行為に及ぶのとは  
訳が違う…

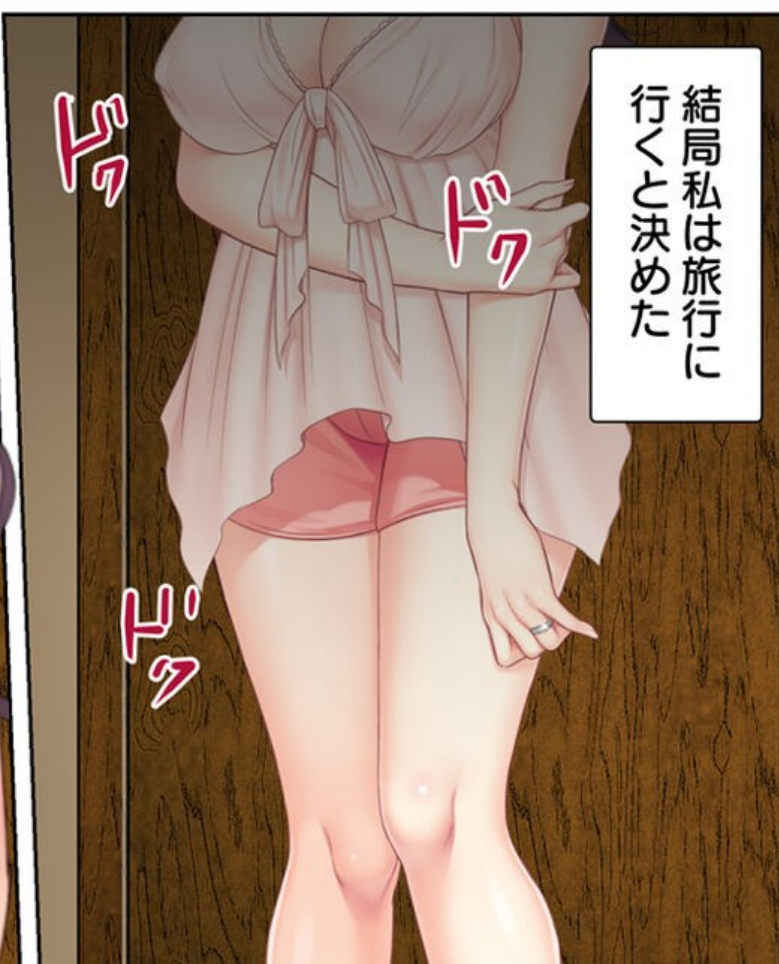
旅行なんて  
気心の知れた  
相手とすること













あっという間に  
日は流れ――

チュンチュンッ

旅行当日を  
迎えた

奥さん

旦那さんには  
旅行のことは  
教えたんですか？

いえ…

結局隠したままで  
来ちゃいました…

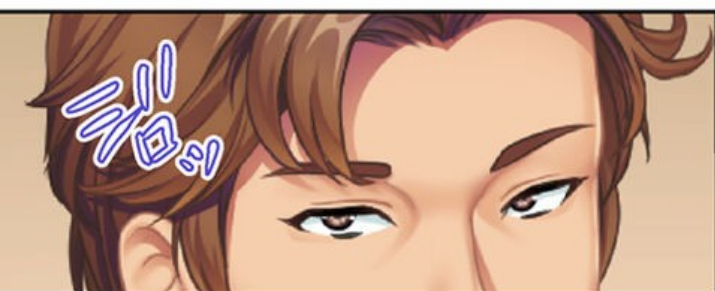
それは正しい選択  
だと思いますよ

それじゃ  
行きましょうか

ええ…

本当にこれで  
よかったのかしら…









温泉に  
入るかい？



せっかく  
誘われたのに…



俯いたままなんて  
堂島さんに失礼よね

…はい



たとえばこれが…  
寝取らせプレイの  
一環だとしても…



露天風呂に  
浸かれば

気持ちも  
さっぱりするさ

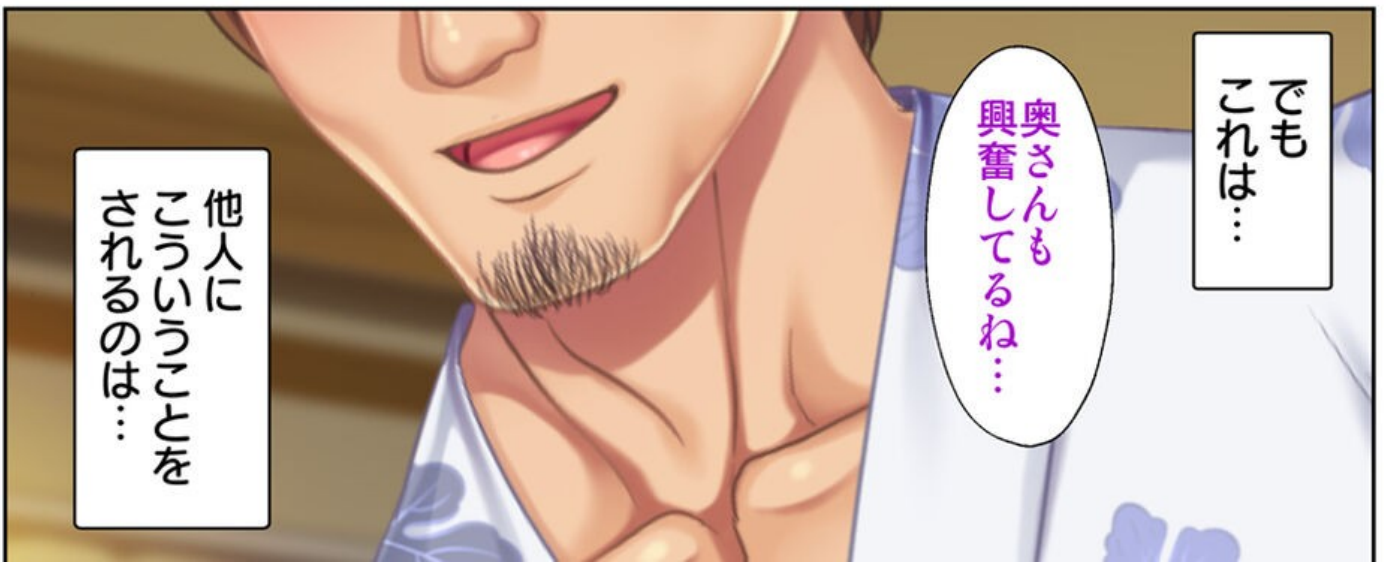
















変に罪悪感なんて  
覚える必要はない



賢一さんが  
望んでいること



素直に快感を  
受け入れて：  
いいんだよね



いいんだよ

たくさん  
感じて：



賢一さん  
私は――

じゃあ……もっと  
してください









ふふっ

…盛大にイッて  
しまったね



あれから  
どれくらい  
愛撫され

何回イッて  
しまったんだろう



驚くほどスムーズに  
堂島さんを受け入れる

スチャッ  
スチャッ

スチャッ  
ブチャッ



でもお楽しみは  
これからだよ

ぐしょぐしょに  
湿った私の粘膜が…

ぬるぬる



そ…そんなに  
せめないでええっ

らめえ…っ  
イッ…イッたっ  
ばかりなのおっ

ぐしょぐしょ  
ぬるぬる









































捕まりますよっ!!

ここは女湯  
ですよっ



どっ…  
堂島さん!!



入り口の説明を  
見なかったかな?

この露天風呂は  
混浴だよ

そんな…っ



……  
ツ



わ…っ  
私出ますっ













や…だめっ  
堂島さん…っ

はあ

はあ



奥さんの蜜を  
もっと味わわせて



はあ



んんっ

はあ



うう…  
んん…っ

せめて部屋で…  
こんなところじゃ…  
だめえっ

はあ





ひあっ

こんなの…

ダメエ…

そんな  
わけ…っ

濡れているね…

はっ

はっ

「はっ」  
「はっ」

声を我慢して  
偉いね…

でもちよつと  
つまらないな

























できな…っ

そんな…ことっ



は…はまって  
なんか…っ

ズチュ



思ったん  
だけどねっ

そうかな？  
奥さんはそれ以上に  
私とのセックスに  
はまっっている

ズチュ



奥さんもイッて  
中でしっかり  
射〇を感じ取るんだっ

く…っイクよっ

ズチュ



おかしく  
なっちゃうう…

そんなに  
したらあつ

ズチュ





私はどんな顔をして  
賢一さんに話せば  
いいのだろう...















だけど今は――

あ

あ

賢一さんに旅行先で  
堂島さんとしたことを  
話しながら――

ズッ  
ズッ  
ズッ

ここを…堂島さんにも  
突かれたんだらう？

そうよっ

は

は

あの人のオチ○ポが…っ  
何回も入って  
中出しまでしてえ…

ズッ  
ズッ  
ズッ  
ズッ

くっくそ…!!

嫉妬する夫に私自身も  
興奮していた



あの旅行から  
帰ってきてから  
数日間

賢一さんは  
堂島さんのことを  
切り出すことが  
なくなった



それとも  
違う悩み...?

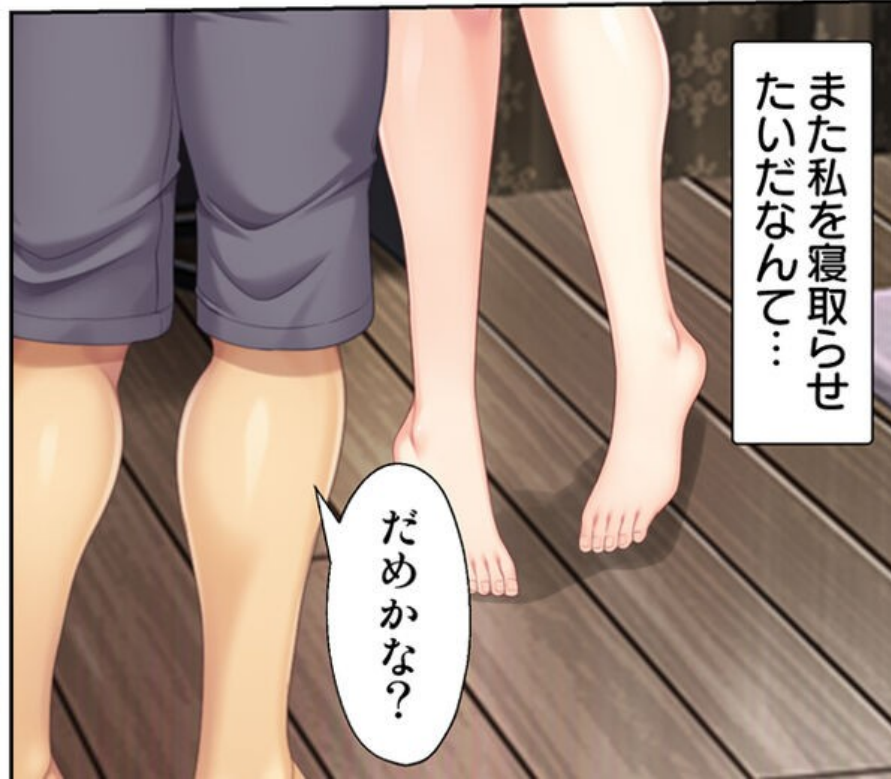


聞いてみたほうが  
いいかしら...?













…君が違う男に  
寝取られる姿も  
見てみたくてね

そう…

賢一さんは  
そういう人なのだ



私を愛している上で  
どうしようもなく――

……

私が他の誰かに  
抱かれていないと  
満足できない



寝取られることが  
私の愛する人の  
欲求であるならば…

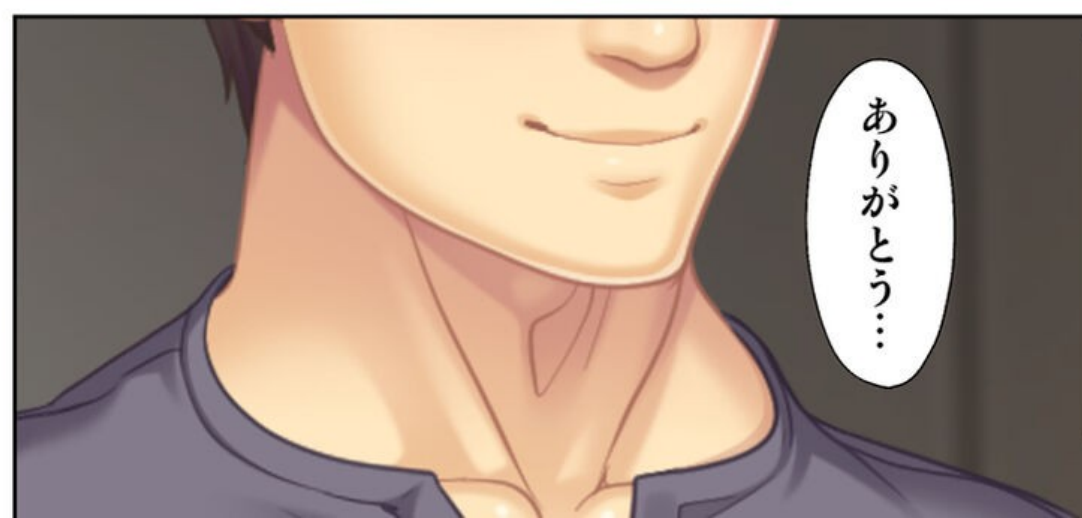


次も佳乃に  
相応しい相手を  
探し出すつもりだ



…わかったわ

拒むなんて  
できない



賢一さんが  
また辛い思いを  
しないためにも…

ありがとう…













今日は顔合わせだけ  
じゃなかったの…？



あー……  
少し話して佳乃の心の  
準備ができたなら  
ホテルに移動しようか



初めてだからね  
僕の目の前でして  
もらいたいんだ



…旦那さんも  
ついてくるんですか？



二人の欲望の快楽を  
望む顔に――

奥さんとエッチが  
できるなら  
それくらいは……

もう私からは  
何も言えなく  
なってしまった









やっぱり…  
二人きりにさせて

二人に協力したく  
なってしまう



あなた…

そんな姿を  
見ていると  
私まで…



だって……



えっ…!!

どうして急に  
そんなことを…?



その方があなたは  
興奮するんでしょう?

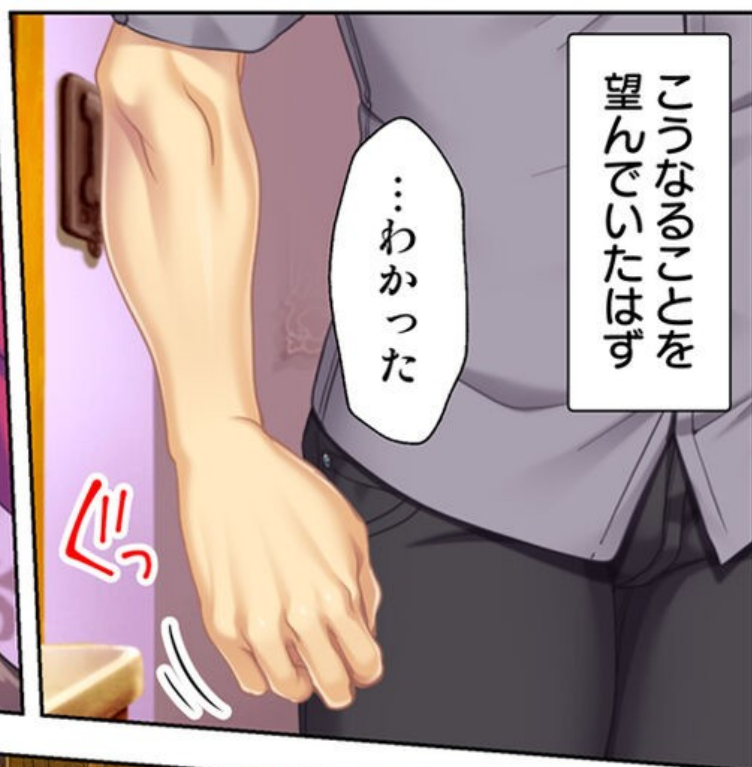
賢一さんは  
心のどこかで—





自分から言い出す  
覚悟が…

ただ――



こうなることを  
望んでいたはず

…わかった



出来ていなかった  
だけ――…

そこまで言うなら  
僕は席を外すよ

その覚悟を  
後押しして  
あげるのが…



110  
タン

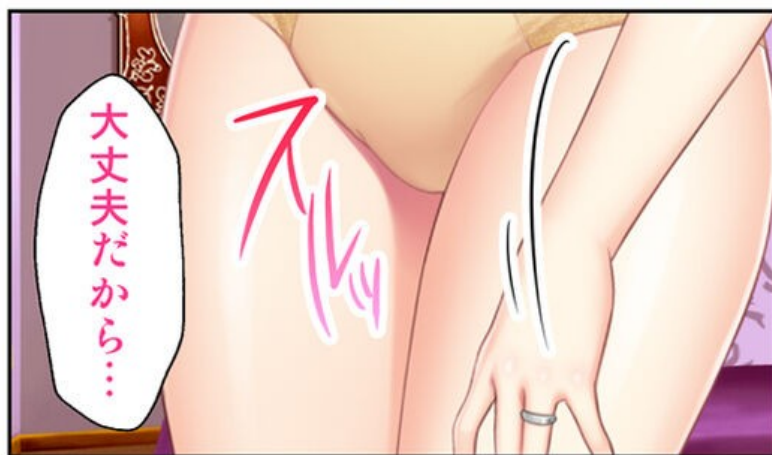


私の役目だ…

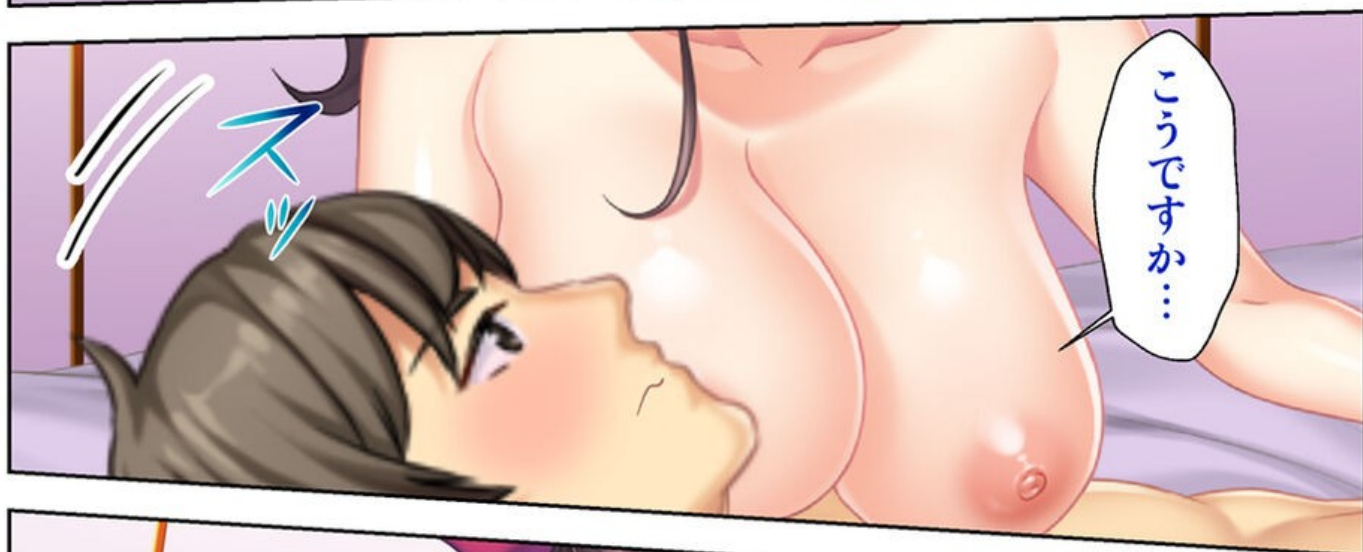




















ああっ…  
すごいっ…

こんなのすぐ…



はあ…

そう考えると  
妙な興奮を覚える



ふふっ

はあ

いつでも出して  
大丈夫よ…っ

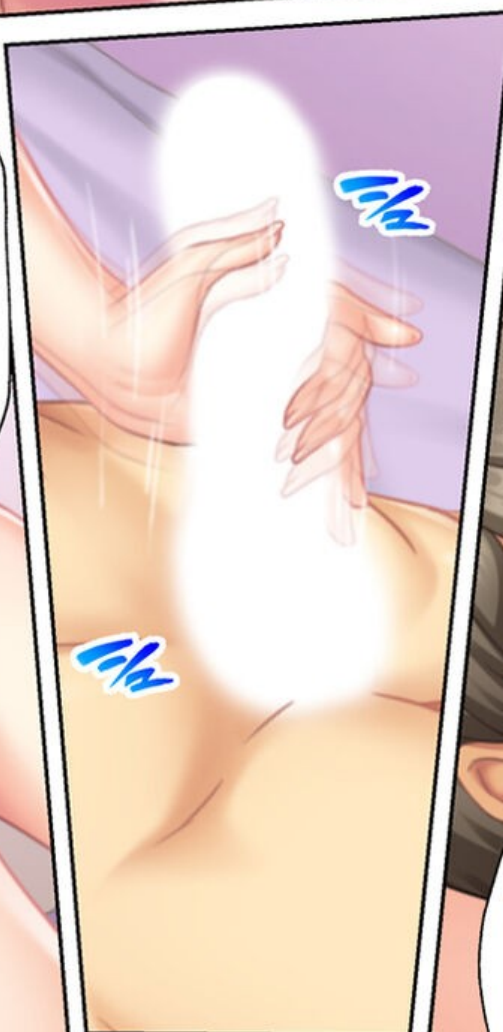
はあ



いいわよ…  
このままいつて…っ

はあ

はあ



ふん

ふん



はあ…っ  
うう…

ふんふん

俺…もう  
奥さんっ…

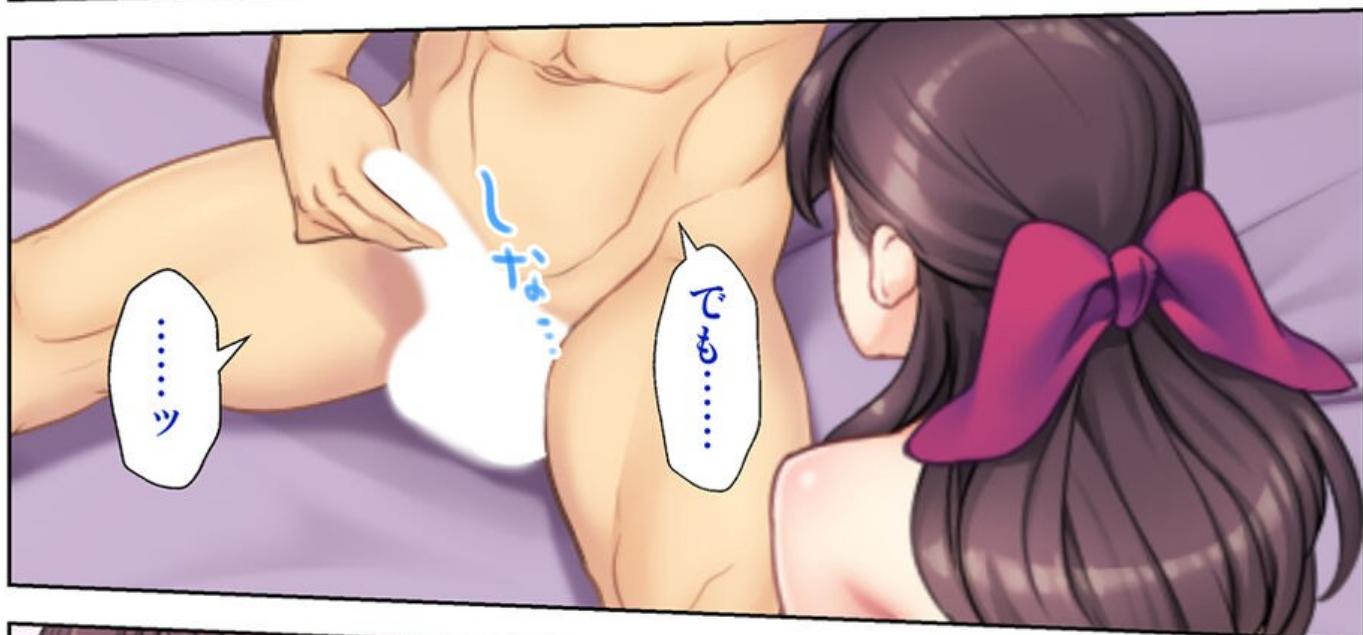
ピクッ





：尚哉くんの精〇  
濃くて熱い...













それ…だめ  
また俺っ…!!

んくっ  
んんっ



興奮しすぎだよ…

…そろそろ  
しましようか

は

は



んはあっ



私がリードして  
あげるから  
じっとしていて

興奮する  
賢一さんの表情が  
脳裏に浮かぶ



お…お願いします

若い男の子に  
尽くす私を見て—

は

は





ぐわわわわわ

ふああつ



んあ...っ

にやう...っ



お願い...  
します



ん...うっ...っ



入っちゃったね...  
奥に...いっぱい...

俺のチ○コが  
奥さんの中に...

もう...  
動いちゃって  
いいかな...?

はあ...  
はあ...

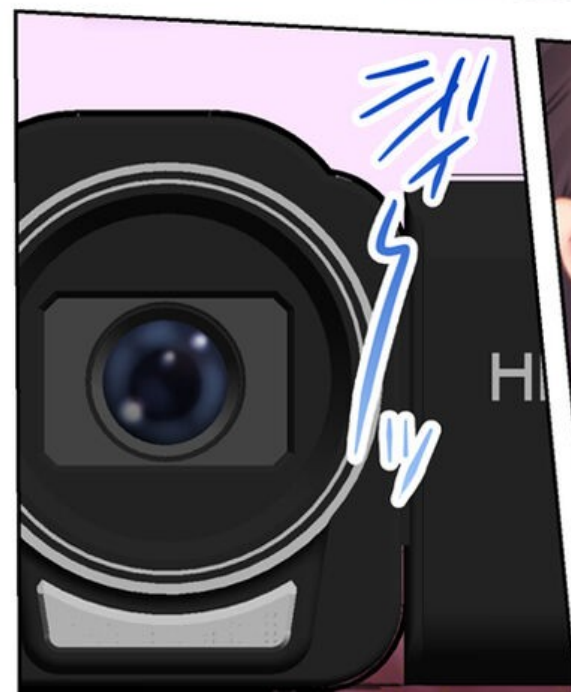




















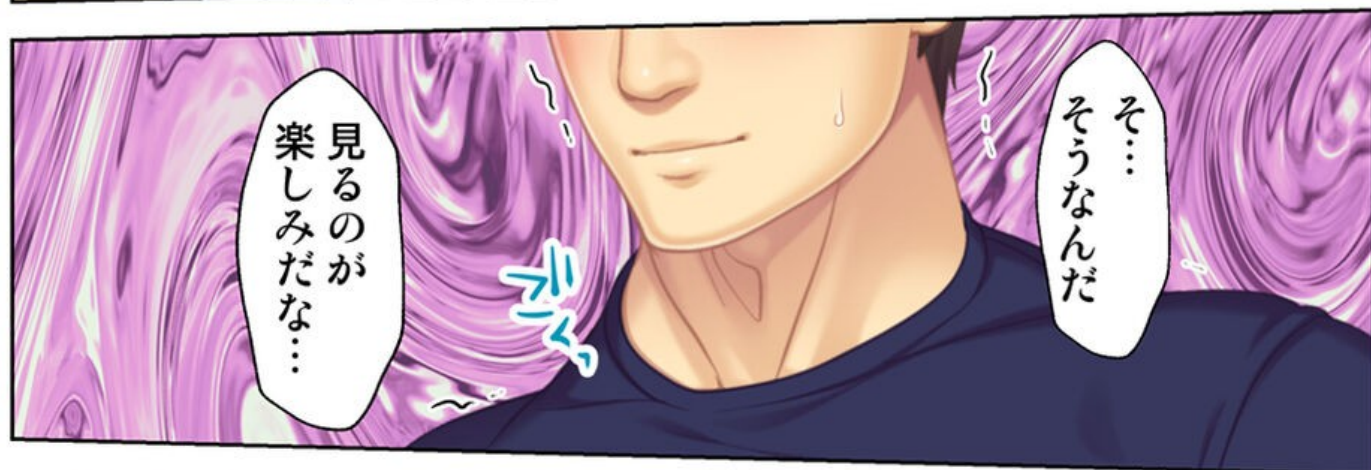
か  
つ  
た  
ら  
な  
あ  
…

尚哉くんの  
気持ち良さそうな顔













うう…



すごく  
似合ってるよ



やっぱり…  
恥ずかしいわ…

ヒキ

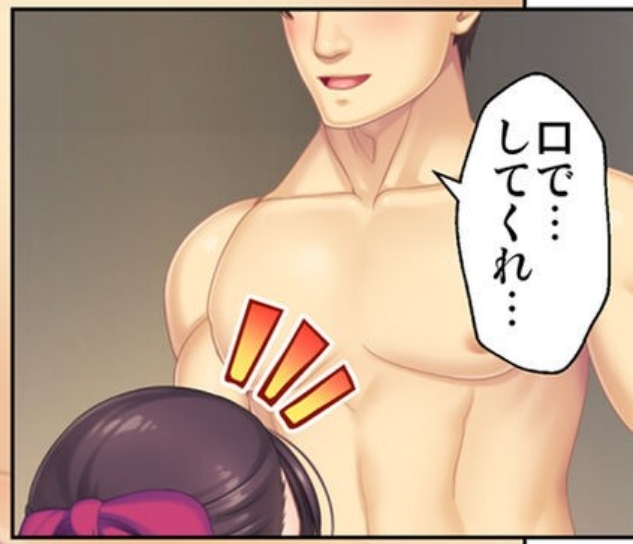
ヒキ

むちっ

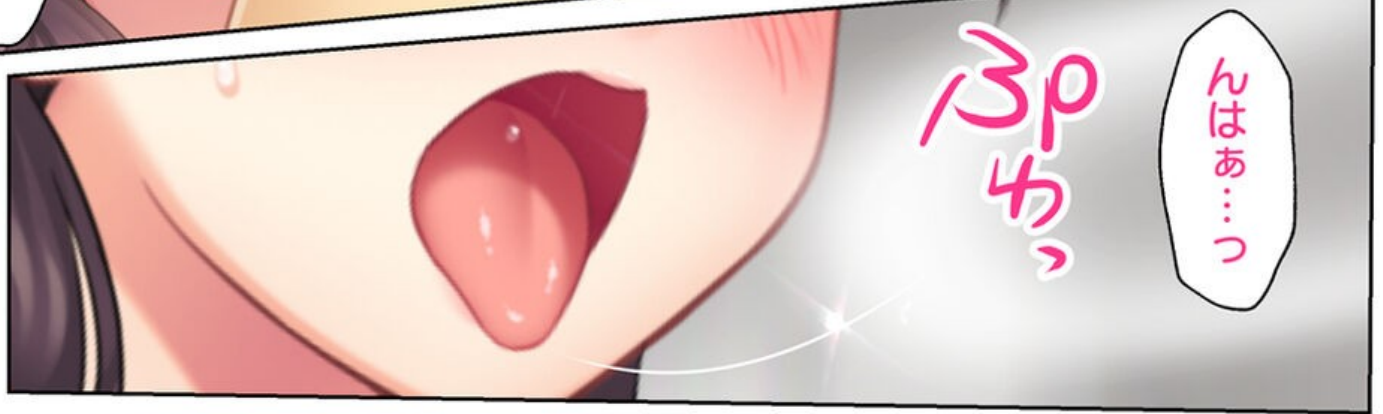
むち

制服なんて  
何年ぶりかしら…





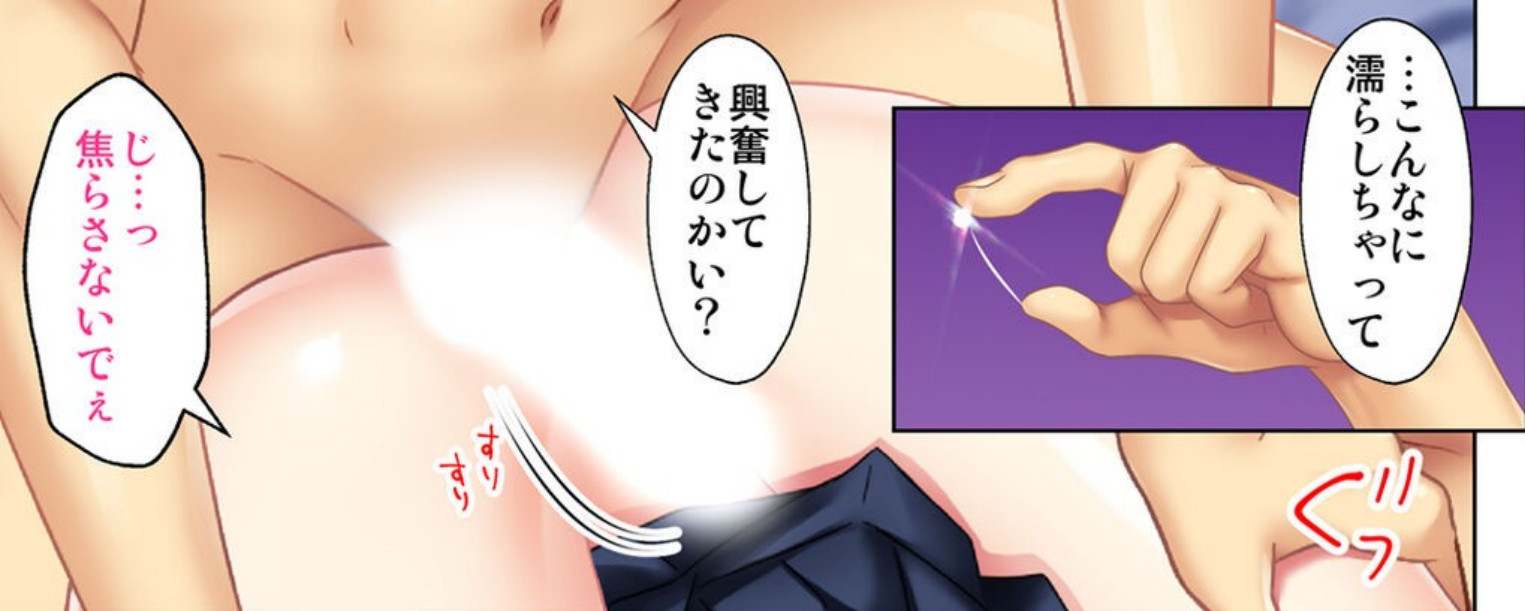
















はっ

それもあるに  
とつては嬉しいこと  
なんだろう…？

はっ

僕の考えてることに  
手を取るように  
わかるんだね:

その通りだよ...

こいつからは  
受け答えがに  
出来るように  
なつたのか  
だろう

はぁあ

んあ

はああ

んあ









またって…  
彼は言ってるけど  
佳乃はどう？



ちゃんとお礼の  
メッセー지를する  
なんていい子ね

ふいふい



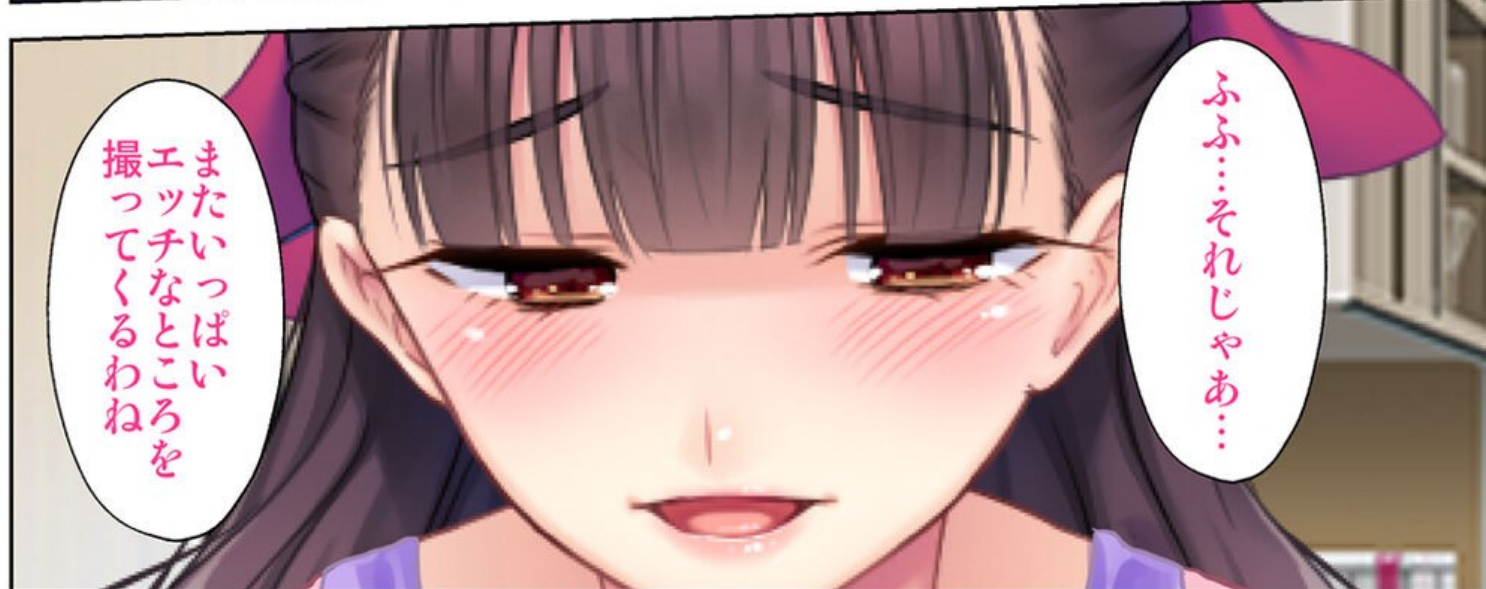
ごめん…  
お願いしても  
いいかな？



もう素直じゃない  
んだから…

賢一さんが  
会って来てほしい  
んでしょ？

あ



ふふ…それじゃあ…

またいつぱい  
エッチなところを  
撮ってくるわね













服を脱がすって  
言うのもいいね



唇がくっついた  
瞬間に――

んん…っ

すゅ

すゅ

舌をねじ込んでくる

拒むことなく  
私も…

れれれれれれ

れれれれれれ

舌を絡ませる

んんんんんん

後で観る賢一さんが  
興奮するように…

けっこう  
積極的だね

そんなに俺が  
欲しかった？

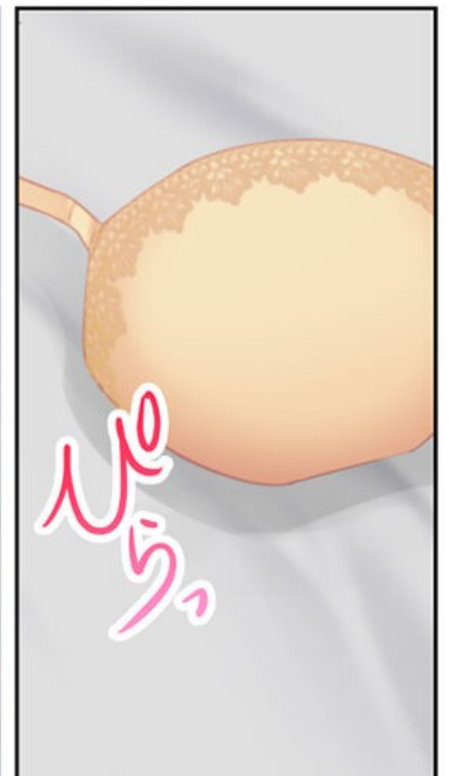
ふはあ

はあ

はあ

そんなこと…っ







賢一さんは  
快楽に溺れて  
いくのだろう

んっふ…

そして私は今—

れっ  
れっ  
れっ

くちゅ

くちゅ  
くちゅ

賢一さんの愛情とは  
別のところぞ…

快楽に溺れたい  
と思う自分がいる

これは裏切りに  
なるのだろうか…

千ッパ  
千ッパ

はあ

はあ

もう最高…  
今度は俺が…













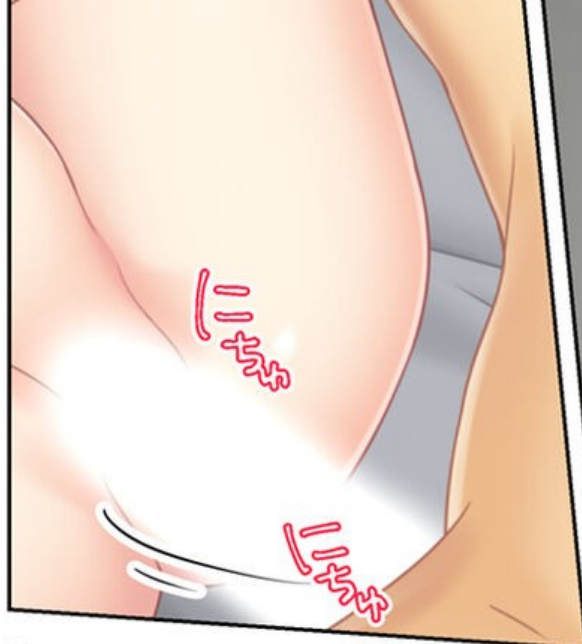












俺たち相性  
いいんだね…

もつと感じて…  
俺も気持ちよくしてっ



ああ…っ  
あああああっ  
そんな…っ



…いきなりっ

たぬええ

ズン  
ズン





ほらっ  
ほら…

あうぐっ…

乱暴よ…っ

また…  
イキそう  
なの…っ？

すっ

あっ

乱暴なのが  
いいんでしょ？

13.0 13.0  
う

は♡

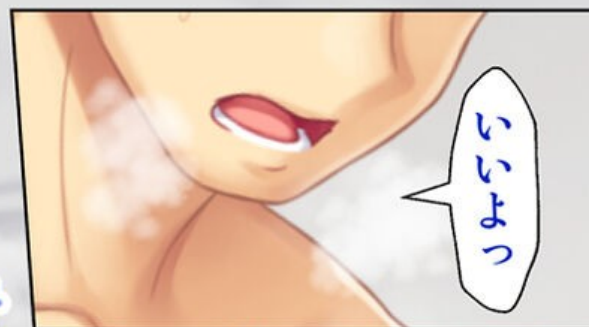
尚哉くん…  
尚哉くうんっ！

は♡

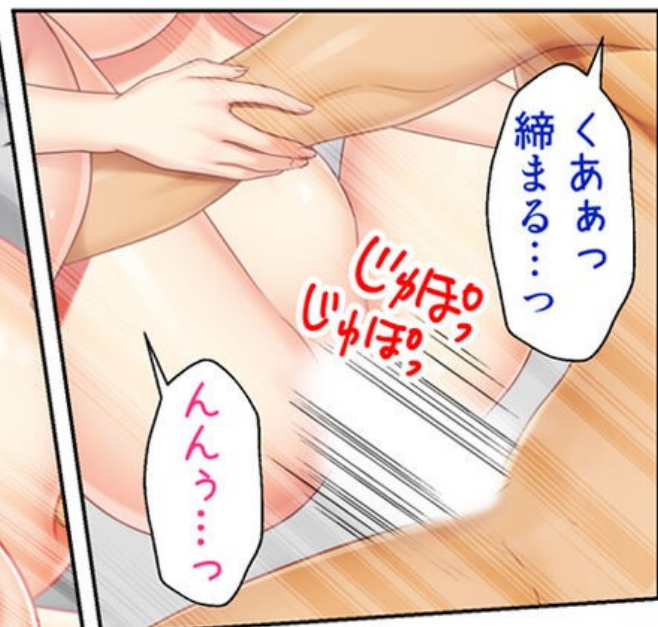
は♡

ほ…本当にまた  
イツちゃううっ





























私の股間は期待で  
潤んでしまう

きんっ

ちゅぽん

きんっ



んんっ

ちゅぽん

乱暴にされれば  
されるほど…

ちゅぽん



ふわっ

ちゅぽん

……欲しい



欲しくなっ  
ちやった…  
尚哉くんの  
オチ○ポが…



……頂戴

は、

は、





ん…っ

ぬ  
ぬ



…仰向けになって

そう来なくっ  
ちゃ!



早く…奥さん  
もう我慢できない

ん  
ん

ん  
ん

これクリクリ  
こすれて  
気持ちいい

ん  
ん

ん  
ん  
ん



ああんっ

ん  
ん









はあっ  
はあっ  
はあ...

きもちいい...  
あっ...んあ...

奥さんの  
身体...

ぐにゅ

ぐにゅ  
ぐにゅ

ズ  
チュ  
ズ  
チュ









普通じゃない  
でしょっ!?

それは...っ  
ああ...んっ

はっ

はっ

奥さんを  
他人にやらせる

はっ

旦那さん  
なんかとは  
別れてさっ

ダメエ...ツ私はあの人の  
妻なんだからっ

だったら...  
もうやめ  
ちゃうよう?

ヒッ  
ッ





























深川くんにも  
知られちゃ  
まずいだろう？



賢一さんは  
承知している

それは……

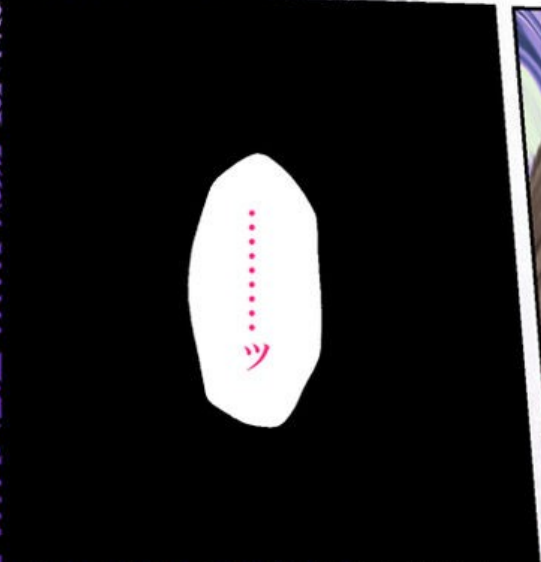
でも職場で  
噂になったら  
賢一さんの立場が……



なあ奥さん  
内緒にして  
ほしかったら……



後は分かるよな？



……  
ッ









…いいか？  
いくぞっ



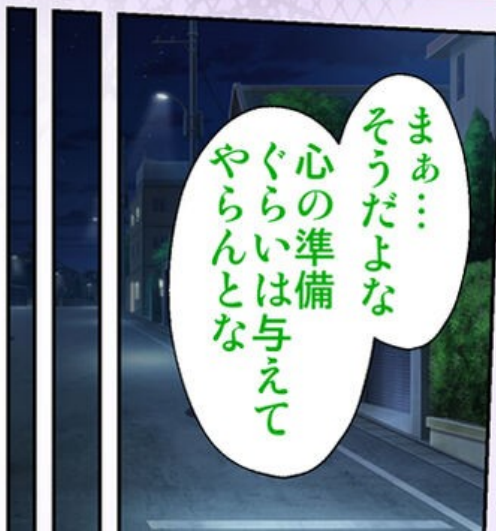
やあ…

ダメエ…ツ



ほらっ！  
どうだ！どうだ！

んはああっ  
あっ…あっ



まあ…  
そうだよな  
心の準備  
ぐらいは与えて  
やらんとな



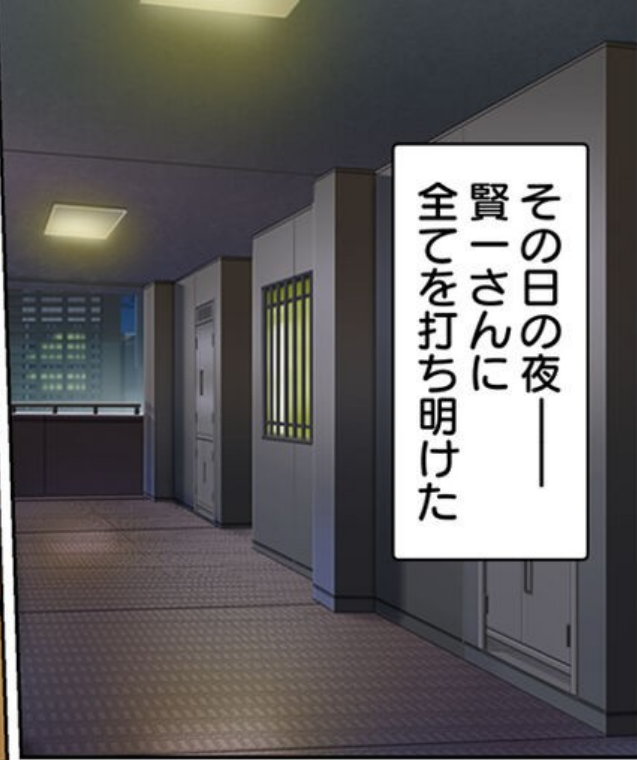
こんな人とは  
嫌っ！

考える時間を…  
…下さい





もう……  
終わらせよう



その日の夜——  
賢一さんに  
全てを打ち明けた



今まで  
ありがとう

曾我野さんの  
ことは俺の方で  
何とかするよ



え……



このまま続けて  
いったら……



……いいの？

あんなに私が  
他の男の人に

抱かれることを  
喜んでいたのに……





確かにそうだけど…

本当にこれでいいのだろうか？



歯止めが  
きかなくなつて…

もっと刺激も  
欲しくなり

取り返しがつかなく  
なるかもしれな

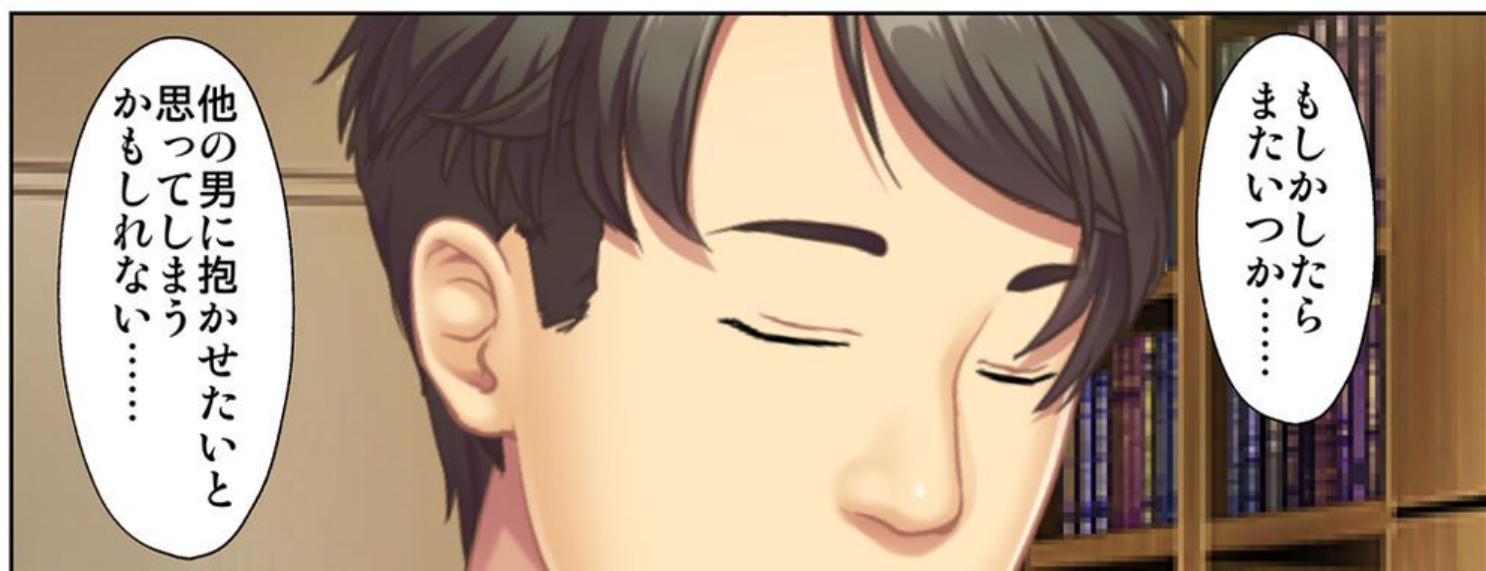


ううん……

あなたのために  
始めたことだもの



…もしかして  
佳乃はやめたくない？



もしかしたら  
またいつか……

他の男に抱かせたいと  
思ってしまう  
かもしれない……







——それから  
月日が流れて

私たちは普通の  
夫婦へと戻った

二人で支え合う  
どこにでもいる  
平凡な夫婦に……

今日は友達と  
会うから

少し遅くなるかも  
しれないわ……

そうか  
楽しんで

それじゃあ  
行ってくる

ええ……  
いつてらっしゃい

賢一さんは  
きつとまた……

カチャ





だから私は――



寝取らせプレイを  
したいと言い出す



たまんねえな……



――思い切り  
楽しませようね



俺のチ○ポも  
吸ってくれよ





こんなに大きくして  
仕方ないわね…

あなたに内緒で  
寝取らせプレイを  
続けている



また寝取られ願望が  
沸き起こった時に

この事をバラしたら  
あなたは興奮して  
私を求めてくれる…



楽しみだわ…



ふふ…